

2015 年春季 UILI 会議
役員会
<日環協代表団参加報告>
《テレビ会議》
2015 年 4 月 15 日

一般社団法人 日本環境測定分析協会

目 次

0	会議概要	1
0.1	アジェンダ	2
1.0	歓迎と出席の確認	5
2.0	欠席者の確認 (あれば)	5
3.0	アジェンダの承認 資料A	5
4.0	会長からの報告	5
5.0	2014年10月17日イズミル開催の2014年第2回役員会議事録の承認 資料B	6
6.0	アジェンダ以外の、前回会議からの懸案事項	6
7.0	事務局からの報告:	7
7.1	財務/帳簿管理:	7
7.1.1	ウェブ上でQuickBooks会計ソフトを利用したUILI財務の帳簿管理	7
7.1.2	ウェブソフトを利用しての年会費、ILP、会議に関する請求書発行、および財務情報のQuickBooks会計ソフトへの入力	7
7.1.3	未払い金の回収のため、対象事業所への催促	7
7.1.4	供給者への期日までの支払い	7
7.1.5	口座管理のためのダンスケ銀行との交信	7
7.2	ILP	7
7.2.1	ILP募集案内を、数回にわたって協会、当会データベースにある事業所、および過去のILP参加者への配信	7
7.2.2	申込者の監視、対応	7
7.2.3	申込者一覧を作成、適宜更新、日本の浦元氏へ報告	7
7.2.4	請求書発行	7
7.3	役員会議およびワーキンググループの準備:	7
7.3.1	フェルナンデス会長と会議運営の打合せ	8
7.3.2	会議アジェンダの作成と、出席者への配信	8
7.3.3	会議への出席と議事内容の記録	8
7.3.4	議事録案の作成と配布	8
7.3.5	議事録の協会ウェブサイトへの掲載	8
7.4	新規入会会員:	8
7.4.1	入会申込の監視と対応、およびフォローアップ	8
7.4.2	評価委員会への申込情報の配布とフォローアップ	8
7.4.3	請求書発行	8
7.4.4	新規入会会員をUILIウェブサイトに登録	8
7.4.5	UILIウェブサイトアクセスするためのパスワード等、会員に関連する情報を新規入会会員へ連絡	8
7.5	会員勧誘: 詳細は事務局より追って連絡される。	8
8.0	財務担当からの報告: (簡単な報告): 2014年損益計算書(最終)と貸借対照表	8
8.1	2014年収支報告 資料C	8
8.2	債券 資料D	9
9.0	事務局長からの報告: (簡単な報告)	9
10.0	次回アルゼンチン・ブエノスアイレス開催の役員会および総会に向けての作業 資料E	9
11.0	会長の交代について	11

12.0 会員勧誘活動: 資料F	11
13.0 スポンサー	11
14.0 UIIL – 第9回ILP報告: (簡単な報告) (松村博士)	11
15.0 外部加入団体活動報告	12
16.0 協会会員および非協会正会員からの報告	12
17.0 17025 UIIL内ワーキンググループからの報告 (アデコ氏) 資料G	12
18.0 UIIL-EUROLABワーキンググループからの報告 (シルバ・リベイロ博士)	13
19.0 2015年第2回役員会議 開催日時と場所	13
20.0 その他会長承認の案件	13
21.0 閉会	14
資料	15
資料 (和訳)	57

0 会議概要

役員会

開催日時： 2015年4月15日(水) 21:00～22:00

開催場所： JEMCA ビル 3階 会議室

出席者（敬称略）：

会長	マナヘン・フェルナンデス・アロンソ	スペイン
事務局長	ルーク・ショルティス	オランダ/VRS
代表役員	ギブ・マケンティ	カナダ/CCIL
代表役員	松村 徹	日本/JEMCA
代表役員	アルバロ・シルバ・リベイロ	ポルトガル/RELACRE
代表役員	ホラシオ・デナリ	アルゼンチン/CALIBA
代表代理	田中正廣	日本/JEMCA
UIIL 内 17025WG	マリ・アンヌ・アデコ	ナイジェリア/Frals 社
事務局	メリッサ・M・フェルナンデス・バレロ	スペイン
通訳	八十島光子	日本/JEMCA

< 組織名 >

UIIL	Union Internationale des Laboratoires Indépendants
AELI	Asociación Española de Laboratorios Independientes
CALIBA	Cámara Argentina de Laboratorios Independientes, Bromatológicos, Ambientales y Afines
CCIL	Canadian Council of Independent Laboratories
JEMCA	Japan Environmental Measurement & Chemical Analysis Association
RELACRE	Associação de Laboratórios Acreditados de Portugal
VRS	Vereniging van Raadgevend Scheikundige Laboratoria

0.1 アジェンダ

- 1.0 歓迎と出席者確認
- 2.0 欠席者からのお詫び(あれば)
- 3.0 アジェンダの承認
- 4.0 会長からの報告
- 5.0 2014年10月17日に開催されたバルセロナ開催の2014年第2回役員会の振り返り、及び議事録承認
- 6.0 アジェンダ以外の、前回会議からの懸案事項
 - 6.1 入会申込の評価検討および回答手続きの変更
 - 6.2 JEMCAホームページ上に、他役員の所属会社のホームページをリンクさせる件について
- 7.0 事務局からの報告:(簡単な報告)
- 8.0 財務担当からの報告:(簡単な報告) 最終的な収支と財務諸表
 - 8.1 2014年の最終的な収支と財務諸表
 - 8.2 銀行口座費
 - 8.3 債券
- 9.0 事務局長からの報告:(簡単な報告)
- 10.0 次回アルゼンチン・ブエノスアイレス開催の役員会および総会に向けての作業報告
 - 10.1 ブエノスアイレス会議のアジェンダ案
 - 10.2 ブエノスアイレス ラボミーティングのプログラム初案
 - 10.3 会長の交代について
- 11.0 会員増強活動
 - 11.1 試験所のリスト
 - 11.2 UIIL 広報と活躍拡大のための活動
 - 11.3 スポンサー
- 12.0 UIIL 第9回 ILP 経過報告:(簡単な報告)(松村博士)
- 13.0 外部加入団体活動報告
(次回ブエノスアイレス会議にて行う予定)

協会会員と非協会正会員代表からの報告(次回ブエノスアイレス会議にて行う予定)
チン ブエノスアイレス

14.0 2015年第2回役員会 日程と場所

2015年9月16-18日 場所：アルゼンチン ブエノスアイレス

15.0 その他（会長承認）

16.0 閉会

役員会
2015年4月15日テレビ会議
カナダ 8時-日本 21時
ポルトガル・ナイジェリア 13時-スペイン・オランダ 14時

1.0 歓迎と出席の確認

フェルナンデス博士は役員一同を歓迎し、新任役員となるアルゼンチン協会 CALIBA 会長のデナリ博士を紹介した。

フェルナンデス博士は本日の会議が実り多きものとなるよう、また、会議システムの不具合等に見舞われないことを祈った。

会議には ISO 17025 WG のコーディネーターを務めるナイジェリアのマリ・アンヌ・アデコ氏を招待していることを述べた。

2.0 欠席者の確認 (あれば)

フェルナンデス博士は、VRS 会長ファン・デル・ワルト博士から欠席のお詫びがあったことを述べた。

AELI のジョルディ・オリバー・ロデス氏からは、会議の出欠について連絡がなかったとのこと。

3.0 アジェンダの承認 資料 A

フェルナンデス博士は、会議のアジェンダは数回に渡って役員へ配信されたが、修正等の意見はなかったと報告した。何か修正はないか一同に確認したが、意見はなくアジェンダは案通りで承認された。

4.0 会長からの報告

フェルナンデス博士より、本日の会議は 2 時間で終えるため、最重要課題に絞って取り上げ、他は次回ブエノスアイレス会議にまわすことが確認された。また、事務局のメリッサ・フェルナンデス氏について、昨年 24 日に出産し現

在教師を休業中であるが UIIL 業務については継続して行い今期戦略計画の実行に当たっていると述べた。

5.0 2014 年 10 月 17 日イズミル開催の 2014 年第 2 回役員会 議事録の承認

資料 B

フェルナンデス博士より、議事録は、寄せられた意見を反映されたものが配信済であると述べた。これ以上修正意見はないことで議事録は承認された。

6.0 アジェンダ以外の、前回会議からの懸案事項

フェルナンデス博士は、前回会議からの懸案事項について次の通り述べた。：

- **入会申し込みの検討・評価・応答に関する変更:**

フェルナンデス博士は、前回役員会議にて新規入会会員の評価を効率的・効果的なものに改善すべく見直しを決定したことに触れた。その後、簡単な評価シートが作成された。申込者はシートに記入後事務局へ提出すると、事務局はそれを評価委員会へ転送して委員会は評価検討をする。結果は2週間以内に申込者へ通知する。その後、入会を認められた事業所に対し、事務局は会員の登録手続きと会費の請求を行う。

フェルナンデス博士は、いくつかの事業所に対してこの手順で対応しており、問題なく機能していると述べた。

- **JEMCA ホームページ上に、他役員の所属事業所 URL をリンクさせる件について:**

フェルナンデス博士は前回のイズミル役員会で田中氏が本件についてショルティス博士へ質問していたことに対し、ショルティス博士から可能であろうから各役員へ確認することになっていたことについて、その後の進捗状況について質問した。

ショルティス博士は、進展はないと答えた。

八十島博士は、JEMCA のウェブサイトは現在リニューアル中で8月に完成予定なので、7月中旬に各役員の所属事業所 URL の掲載許可を求めるメールの配信を考えていると述べた。

シルバ博士は、例えば **RELACRE** には会員が複数おりそれぞれがウェブサイトを持っているが、こういったこの場合はどうなるのかを質問した。

八十島博士は、検討の上、7月に **RELACRE** に問い合わせると回答した。

7.0 事務局からの報告:

事務局は役員一同を歓迎し、前回会議以降に、会員からのメール対応やそのフォロー以外で行った主な作業報告を行った。

7.1 財務/帳簿管理:

7.1.1 ウェブ上で **QuickBooks** 会計ソフトを利用した **UILI** 財務の帳簿管理

7.1.2 ウェブソフトを利用しての年会費、**ILP**、会議に関する請求書発行、および財務情報の **QuickBooks** 会計ソフトへの入力

7.1.3 未払い金の回収のため、対象事業所への催促

7.1.4 供給者への期日までの支払い。例：**ILAC** 年会費、**Labwing** 社、**イズミル**会議関係

7.1.5 口座管理のためのダンスケ銀行との交信

7.2 **ILP**: 事務局は、作業に多大な時間を費やしていると述べた

7.2.1 **ILP** 募集案内を、数回にわたって協会、当会データベースにある事業所、および過去の **ILP** 参加者への配信

7.2.2 申込者の監視、対応

7.2.3 申込者一覧を作成、適宜更新、日本の浦元氏へ報告

7.2.4 請求書発行

7.3 役員会議およびワーキンググループの準備:

- 7.3.1 フェルナンデス会長と会議運営の打合せ
- 7.3.2 会議アジェンダの作成と、出席者への配信
- 7.3.3 会議への出席と議事内容の記録
- 7.3.4 議事録案の作成と配布
- 7.3.5 議事録の協会ウェブサイトへの掲載

7.4 新規入会会員:

- 7.4.1 入会申込の監視と対応、およびフォローアップ
- 7.4.2 評価委員会への申込情報の配布とフォローアップ
- 7.4.3 請求書発行
- 7.4.4 新規入会会員を UI LI ウェブサイトに登録
- 7.4.5 UI LI ウェブサイトにアクセスするためのパスワード等、会員に関連する情報を新規入会会員へ連絡

事務局は、新規会員情報をアジェンダと併せて配信したことと、今回非協会会員 8 事業所とアルゼンチンの協会 **Caliba** が入会したことを説明した。

7.5 会員勧誘: 詳細は事務局より追って連絡される。

8.0 財務担当からの報告: (簡単な報告): 2014 年損益計算書(最終)と貸借対照表

フェルナンデス博士より、財務情報は、事務局が **Quickbooks** 会計ソフトに入力したものを財務担当が確認中であることが説明された。2014 年 12 月 31 日現在の損益計算書をアジェンダとともに配信したことを添え、また、現時点で銀行からの報告と、**Quickbooks** 会計ソフトの記録の間で相違はないことを報告した

8.1 2014 年収支報告 資料 C

2014 年収支報告について、フェルナンデス博士は 2014 年活動費として事務局や役員会議費が抑えられた一方で、ILP 収入が予算 (4,000EUR) を下回ったため、結果として 2,300EUR の損失となったことを報告した。

2015年については黒字となることを期待したい、と添えた。

8.2 債券 資料D

フェルナンデス博士は、今月初めに満期を迎えた債券が償還され 20,000EUR が口座に入金されたため、再投資の可能性について銀行に問い合わせているが、銀行から回答を得るのに時間がかかっている、今後の方針を松村博士へ相談する、と述べた。

最後に、フェルナンデス博士は 2014 年末現在、UIII の口座に残された金額は合計で 62,000EUR であると報告した。

9.0 事務局長からの報告: (簡単な報告)

ショルティス博士は、Labwing 社は会員勧誘のために事業所の情報を UIII ウェブサイトへ登録するのに労力を費やしていると述べた。

UIII ウェブサイトへの広告協賛について、ショルティス博士はフェルナンデス博士と努力したが協賛者を見つけられなかったことを報告し、他の役員へ助けを求めた。

フェルナンデス博士はショルティス博士に本件に関して感謝を述べ、UIII ウェブサイトへの広告協賛について、スペイン内の事業所 (IDEXX, AGILENT, BRUKER, THERMO FISHER, BIOMERIEUX, PERKING-ELMER 等) の代表者と事務局のメールアドレスを入手しメールを送ったが、協賛の申し出はなかったことを報告した。

シルバ博士は、ポルトガルの事業所いくつかに連絡をとって見たものの協賛は得られなかったと述べた。

フェルナンデス博士は、ブエノスアイレス会議では協賛者を集めたいと加えた。

ショルティス博士は、本議題に関する報告は以上と述べた。

10.0 次回アルゼンチン・ブエノスアイレス開催の役員会および総会に向けての作業 資料E

フェルナンデス博士は、ブエノスアイレス会議関連行事の運営は Caliba と共同で作業を進めており、数回会議を行ったと述べ、デナリ博士へ作業報告を促した。

デナリ博士は会議運営について以下の通り報告した:

- 役員の宿泊費と会議費の見積もりを取る準備をしている。過去に会議等で使って印象の良かったホテルがあり、そこを考えている。
- ラテンアメリカ地域の全ての国から出席者を集められるよう努力している。
- アルゼンチンの多くの方は英語を話さないので、会議通訳を付けることが重要。
- アルゼンチン政府機関からの招待者を検討中。
- 多くの人へ連絡を取り、UII と関連行事に関する情報を拡散させている。
- 観光ツアーや夕食、昼食の手配も進めており、変更等は連絡する。

デナリ博士は、ラテン地域各国の協会の会員事業所最低1か所へ連絡をとれば情報を拡散できると述べた。

フェルナンデス博士はデナリ博士からの報告に同意し、前年に行事を開催した際の参加者数について質問した。

デナリ博士は約80事業所だったと答えた。

フェルナンデス博士は今回の会議についても同様に成功させたいが、他の行事と異なる点はこれらの行事が参加費無料なのに対し、今回の会議は費用を賄うため参加費を回収しなければならない点で、参加費は高くならないよう適切な額に設定しなければならないと述べた。

デナリ博士は、人を多く集めるには参加費を高く設定しないことが重要であると述べた。

ブエノスアイレス会議のアジェンダ案は事務局より役員へ配信済み。

フェルナンデス博士は、アジェンダの内容はイズミル会議のものと似ているが、ラテンアメリカから会議での発表者を招待する予定であることを述べた。フェルナンデス博士は、デナリ博士へ連絡をとった相手はいるか質問した。

デナリ博士はアルゼンチンとブラジルの事業所に連絡予定であると答えた。

11.0 会長の交代について

フェルナンデス博士は、次回会議にて会長を含めた役員の改選が行われる予定であると述べた。フェルナンデス博士は、次期会長候補者を明確化することと、彼自身の後継者について考えることが重要であると述べた。また、全ての役員個々に問い合わせて相談すると添えた。

12.0 会員勧誘活動: **資料 F**

事務局は本件に係る作業報告を行った。：

- 退会した会員へ再入会を促す件：ここ数年で UIIL を退会した多くの会員へ連絡をとり、回答を待っている段階である。
- 事業所のリスト：継続して各国の事業所の情報を集約したリストを作成している。リストは Labwing 社ナディーン氏が UIIL データベースへ登録する。現時点で、アジアおよびアフリカ諸国の事業所についての情報が整っており、今は CALIBA 事務局と協力してラテンアメリカ諸国の事業所を中心に作業を進め、ブエノスアイレス会議への出席。
- 次は、Labwing 社と協力して整えた勧誘資料を配信で、来月行う予定。大量一斉配信メールを送る際何度か失敗してたくさんエラー通知メールが返ってきたことがあったため、次は成功させたいと願っている。

13.0 スポンサー

フェルナンデス博士は、本件については事務局長から既に報告があったため省略すると述べた。

14.0 UIIL – 第 9 回 ILP 報告: (簡単な報告) (松村博士)

松村博士より、第 9 回 ILP の試料は参加者へ配布済であることが報告された。今回の参加者は 106 事業で、内 2 事業所は韓国で、つい先日申し込みがあったとのこと。

松村博士は、ILP 報告書は 10 月に発行予定であると述べた。

そこでフェルナンデス博士は、報告書が 10 月発行なのであれば、9 月開催のブエノスアイレス会議では本報告書に触れる必要はないことを確認した。

フェルナンデス博士から、アルゼンチンとメキシコへの試料の配送に問題があったことが報告された。

15.0 外部加入団体活動報告 (次回ブエノスアイレス会議にて報告予定)

16.0 協会会員および非協会正会員からの報告 (次回ブエノスアイレス会議にて報告予定)

17.0 17025 UILI 内ワーキンググループからの報告 (アデコ氏) 資料 G

アデコ氏は会議に招待いただいたことを感謝し、UILI が 17025 改訂に向けてのワーキンググループを設置、Eurolab ワーキンググループ委員のシルバ博士とマケンティ氏が入手した関係資料は事務局から配布されたことを報告した。また、前の週に UILI 内ワーキンググループがテレビ会議を行い、2 月ジュネーブ ISO 本部にて執り行われた第 1 回 ISO WG44 会議に出席したマケンティ氏から会議の概要が報告された。WG44 では、ワーキンググループの説明や運営方針についての発表があり、17025 改訂については特に重要な進展はなかったとのこと。マケンティ氏は、次回 ISO WG44 会議は 6 月に開催予定と加えた。

アデコ氏は、UILI 内ワーキンググループは 6 月の ISO ワーキンググループの開催前に Skype 会議を開催予定であると述べた。UILI 内ワーキンググループは、Eurolab や UILI の協会会員から寄せられた情報を集約し、本改訂における優先事項や課題を洗い出す基準とするとのこと。

本件について、フェルナンデス会長は UILI の事業所会員から UILI 内ワーキンググループの活動内容に関する問い合わせが何件かあったことを述べ、そういった問い合わせに対しどのような情報を提供できるのか質問した。

アルバロ・シルバ博士は、UILI がディスカッション用に意見を文書化したものが用意できるまでは情報提供は行うべきではないと答えた。

18.0 UILI-EUROLAB ワーキンググループからの報告 (シルバ・リベイロ博士)

シルバ博士は現時点で当ワーキンググループの主な関心事は、ISO 17025 に関連して UILI と Eurolab が協力し、本規格改訂に関して ISO ワーキンググループで共通の意見をもつことである。

一方で、シルバ博士は UILI と Eurolab による地域協会設立に向けた動きに触れた。本地域協会の設立によって UILI は会員を増やし、また、国際機関としての役割も広がると考えている。また、Eurolab にとっても分析試験所の地域協会を増やすことで、ILAC への影響力を強めるべく認定機関の先に立ちワールドワイドな意見を届けることが可能となる。

フェルナンデス博士はシルバ博士の発言に同意し、また、シルバ博士は UILI と Eurolab が先のことについて共同で取り組んでいると加えた。

19.0 2015 年第 2 回役員会議 開催日時と場所

2015 年 9 月 16 日～18 日、アルゼンチン・ブエノスアイレス開催予定。

20.0 その他会長承認の案件

ショルティス博士は、フェルナンデス博士へ、2015 年予算にあげられている数字は実現可能性について質問した。これに対し、フェルナンデス博士は協会会員からの年会費については請求済で、非協会会員については回収する見込みがあると答えた。しかしながらスポンサーからの協賛金については実現できない可能性もあることを示唆した。

ショルティス博士はオランダ協会の会議で、ブエノスアイレス会議への出席者について話し合い、また、アルゼンチンでのラボツアーの提案があったことを述べた。

デナリ博士は、ラボツアーは良案と同意した。更には、アルゼンチンの試験所は役員一行を迎えられることを大変嬉しく思うと述べた。

フェルナンデス博士は、ラボツアーを行えば会議がより充実したものになると加えた。

次いで、フェルナンデス博士はシルバ博士に対し、Eurolab 新会長選任に関して報告するよう促した。

シルバ博士は、自身がこの度 **Eurolab** の会長に就任したことを報告し、このことで両協会の協力関係がより良好なものとなると述べた。フェルナンデス会長はこれに同意した。

役員一同はシルバ博士の会長就任にお祝いを述べた。

松村博士は、4月1日に債券が満期を迎え、償還された資金を早急に再投資する必要があると述べた。加えて、事務局に対し、会議後に財務に関する質問のメールを送ると述べた。

21.0 閉会

ヨーロッパ時間 15:00、会長は参加者一同に出席のお礼を述べて、閉会した。

資 料



Governing Board Meeting 2015/01 of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants
Wednesday, April 15, 2015, Skype Video conference
PARTICIPANTS:

COUNTRY	START TIME
CANADA/ CCIL: Mr Gib McIntee	08:00 H
ARGENTINA/ CALIBA: Dr. Horacio Denari	09:00 H
PORTUGAL/ RELACRE: Dr. Alvaro Silva R.	13:00 H
JAPAN / JEMCA: Mr. Tanaka	21:00 H
NIGERIA/FRALS: Mrs. Mary Anne Adeeko	13:00 H
President: Manahén Fernandez Alonso	14:00 H
Secretary General: Drs Luc Scholtis	14:00 H
Treasurer: Dr Toru Matsumura	21:00 H
Secretary: Melissa	14:00 H
Interpreter: Dr Mitsuko Yasoshima	21:00 H

1.0 Welcome and roll call of members

Dr Fernández welcome all the Governing Board Members and he said that in this occasion was joining the Board a new invited member, Dr Denari, the President of the Argentinian organization CALIBA.

Dr Fernández expressed that he said he hoped to have a productive meeting and that the meeting could take place without technical interruptions.

Dr Fernández also informed that he had invited to the meeting to Mrs. Mary Anne Adeeko from Nigeria who is the coordinator of the ISO 17025 W.G.

2.0 Apologies for absence (if any)

Dr Fernández informed that he had received apologies from Drs Van der Wart, the President of VRS, because he wasn't able to attend this meeting.

Mr. Jordi Oliver-Rodes from AELI, did not sent apologies for absence, neither participate at the meeting.

3.0 Approval of agenda

Dr Fernández said that the agenda for this meeting had been previously sent several times to all the Board Members and no changes were proposed. He also asked if at the moment anyone had anything to add or to change but everyone agreed with the agenda and it was approved.



4.0 President's presentation

Dr Fernández explained that given the two hours limited time that they had for the meeting, they would focus on the most important issues leaving the other for the next meeting in Buenos Aires, Argentina where they would spend all the time required on all matters. He also informed that the Secretary, Mrs. Melissa Fernández had a baby in Christmas Eve and she is on maternity leave from her job at the school but she had been attending all the administration and secretarial affairs of UILI with his collaboration, following with the implementation of the strategic plan proposed for this term.

5.0 Review and approval of minutes from the Governing Board Meeting 13/02 held in Izmir on October 17, 2014

Dr Fernández said that the minutes had been already distributed in time for review and after receiving several comments they had been reedited and sent again several times. With no further corrections to make the minutes were approved.

6.0 Review of action items and matters arising from the minutes not otherwise on the agenda

Dr Fernández commented that in the last meeting the following action items were left to implement:

- **Changes for study, evaluation and response of membership applications:**

Dr Fernández said that in their last Governing Board meeting it was decided to change the procedure for evaluation of new member's applications to make it more efficient and effective. Then it was prepared an easy evaluation form to be sent to applicants and once filled and sent back to our secretary, Mrs. Melissa would send it to the members of the evaluation committee that would review them and would give their replies within a maximum period of two weeks. After this, if the laboratory was accepted then the secretary would be responsible for making all formalities of registration and the corresponding invoicing.

Dr Fernández confirmed that this procedure has been already applied to several laboratories and it has worked very well.

- **Proposal for linking JEMCA's website with the websites of the companies of the different Board Members:**

Dr Fernández said that in the last GB meeting in Izmir Mr Tanaka asked for this possibility and Drs Scholtis told him that it was possible and that they would be in contact and so he wondered if there had been any progress in that.

Drs Scholtis answered that nothing has been done yet.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

Dr Yasoshima said that JEMCA's website is being modified and they will have the new one on August so they had thought to ask individually by e-mail to each Governing Board member on July if they agreed to link their websites to the JEMCA's one.

Dr Silva added that in the case of RELACRE this is an association with several members and each has its website so he asked how it could be done.

Dr Yasoshima answered that they would think about it and they would contact also RELACRE on July.

7.0 Secretariat's report:

Mrs. Melissa welcome all the Governing Board members and she said that some of the most important tasks of her secretariat since the last meeting besides monitoring and answering member's questions and requirements via e-mail, as well as providing diverse information were:

7.1 Treasury/bookkeeping:

- 7.1.1 Bookkeeping of UIIL's finances using QuickBooks system and web.
- 7.1.2 Invoicing of membership fees, ILP's, meeting expenses... using website tools and transferring this information to the QuickBooks.
- 7.1.3 Follow up of unpaid invoices having sent many reminders to those companies.
- 7.1.4 Payments in time to suppliers... as for example: ILAC fees, Labwing, Izmir meeting expenses ...
- 7.1.5 Continuous follow up and communication with the Danske bank to have our accounting very clear.

7.2 ILP: she commented that this issue has taken a considerable amount of time

- 7.2.1 Continuous distribution of information for the announcement of the ILP, several times, among the Associations, the list of laboratories of our database and the participants from formers ILP's.
- 7.2.2 Monitoring and follow up of applications
- 7.2.3 Preparation, update and sending the list of applicants to Ruri in Japan.
- 7.2.4 Invoicing.

7.3 Preparation of meetings for the Board and the Working Groups:

- 7.3.1 Organization of the meetings with the collaboration of the President.
- 7.3.2 Preparation and distribution of the corresponding agenda among the participants
- 7.3.3 Attendance to the meetings and taking of notes
- 7.3.4 Drafting and distribution of minutes
- 7.3.5 Uploading of minutes to our website



7.4 *New memberships:*

- 7.4.1 Monitoring, communication and follow up of new members applications
- 7.4.2 Distribution and follow up of applications among the evaluation committee members
- 7.4.3 Invoicing
- 7.4.4 Registration of new members in UILI's website
- 7.4.5 Sending passwords to access our website and other relevant information regarding UILI's membership

Mrs. Melissa explained that in one of the files that sent with the agenda, was the information from new affiliations, so far there are 8 new unaffiliated members and also Caliba, the Argentinian association.

7.5 *Membership recruitment: Melissa said that Later she will give more information about it.*

8.0 **Treasurer's report:** (brief information): Final budget /balance statements for 2014.

Dr Fernández explained that Melissa and he had emptied all financial data into quick books and the treasurer is currently reviewing the data. He said that they had prepared and sent with the agenda information about the general statement of UILI accounts as of December 31 2014 and final budget of 2014. He also informed that that so far there are full agreement between reports sent by bank from the accounts and those obtained from quick books.

9.1 *Final budget statement for 2014*

Regarding the final budget 2014, Dr Fernández commented that they found that although during the 2014 exercise UILI reduced expenses in several sections such as in secretariat and Board meeting expenses, this year's entries from ILP were much lower than budgeted other years (4000 euros) as a result there was a final result with a loss of 2300 €

For the 2015 budget it is expected to end with a positive result.

9.2 *Bonds*

Dr Fernández also informed that earlier this month they have been deposited in the UILI account an amount of 20.000€ corresponding to bonds just matured and they have asked the bank information about products to reinvest. But the bank takes a lot of time to provide this information. Her said that he will ask to Dr Matsumura what to do about in next days.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 ئىقوتسىمىلا تارىتتىمىلل يوردىلا داچاتالار
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

Finally Dr Fernández said that at the end of 2014 UILI had a total of about 62.000 € on its accounts.

9.0 Secretary General's report: (brief information)

Drs Scholtis said that from Labwing they are working very hard preparing new laboratories information into the website for membership recruitment.

Regarding the sponsoring Drs Scholtis explained that both Dr Fernández and himself had made a big effort on this issue but they weren't able to get any sponsor therefore he asked for help to the other UILI's GB members.

Dr Fernández thanked Drs Scholtis his contribution on this issue and he explained that in relation with the recruitment of new sponsors for our website, he got information about addresses of representatives of several companies in Spain and the Secretary and him sent many e-mails to important companies of laboratory providers such as, IDEXX, AGILENT, BRUKER, THERMO FISHER, BIOMERIEUX, PERKING-ELMER... however they were not able to get any affirmative response from them.

Dr Silva said that he had tried to contact some sponsoring companies in Portugal but it was not possible to get them.

Dr Fernández added that they will try to be more successful for Buenos Aires meeting sponsoring.

Drs Scholtis said that there are no more important issues to deal with in his report.

10.0 Activities for next Governing Board meeting and General Assembly in Buenos Aires Argentina

Dr Fernández explained that the organization of the event is being conducted with the collaboration of Caliba, whose members have met several times and he asked Dr Denari to give a brief report.

Dr Denari informed about the following points regarding the organization of the meeting:

- They are preparing the budget for the hotel to lodge the GB members and to hold the meeting. He added that they had already thought in a hotel were they had already prepared other meetings and works very good.
- They are trying to get participation from all Latin American countries.
- They think that it would be important to have a translator for the presentations in the Labmeeting because many people in Argentina don't speak English.
- They are also working on the invitation of Argentinian authorities.



- They are contacting many people in order to spread the importance of UILI and the meeting.
- They are also preparing all the possibilities for touristic activities as well as for dinners and lunches and they will send the different options.

Dr Denari expressed that it would be important to contact at least a laboratory from each Latin association of laboratories so that it could spread the information of the meeting.

Dr Fernández agreed with everything said by Dr Denari and he asked him how many people more or less attended the event that they organised last year.

Dr Denari answered that they participated about 80 different laboratories.

Dr Fernández said that they will try to have the same success for this meeting but the difference is that the other event was free and in this case in order to cover the meeting expenses it will be necessary to set an appropriated fee but they will try to make it not expensive.

Dr Denari expressed that it would be very important not to set a high fee for the event to get many participants.

A Draft Agenda with a schedule of activities for the Buenos Aires meeting has already been sent time ago by the secretariat to the Board members.

Dr Fernández said that the agenda of activities would be similar to that of Izmir but we will try to invite people from Latin America to make some of the presentations in the Labmeeting. He also asked Dr Denari if he had already contacted anyone.

Dr Denari answered that they have thought to contact someone from Argentina and also invite someone from Brazil.

11.0 Changes in Presidency.

Dr Fernández commented that at the next meeting there will be changes of positions on the Board: Chair and other charges. He expressed that it is important to clarify who may apply for presidency and also to start thinking about his succession. He also said that he would contact all the GB members individually to discuss about it.

12.0 Membership recruitment program:

Mrs. Melissa explained the actions undertaken regarding this goal:

- *Effort to recover Members lost:* she said that they have contacted many members lost years ago to try to renew their membership and they are still waiting for some answers.
- *List of Laboratories:* she said that she is still working on the worldwide lab list compiling most important information of laboratories. This is sent to Labwing so that Nadine can include it in UILI's database. So far there has been compiled

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所聯合會
 FOUNDED 1960

data from many laboratories from Asia and Africa but now she is working together with CALIBA's secretariat focusing in Latin American countries, in order to get attendees to our next meeting in Buenos Aires as well as new members for the association.

- *Membership recruitment:* She also explained that the next immediate step on the activities for the promotion and expansion of UIIL will be to send the recruitment package already prepared by Labwing and her. This will be done from the next month. She expressed that she hopes that this time they will be more successful with the mailing system because they had several problems when they send the massive mails given that they get back many undelivered messages, which is really a pity.

13.0 Sponsors:

Dr. Fernandez said that she will not again about it because this item has already been discussed in the Secretary General's report.

14.0 UIIL – 9th Inter Laboratory Practice Up-date: (brief information) (Dr Matsumura)

Dr Matsumura informed that the samples of the 9th ILP have already been sent to each laboratory participant. He also explained that there are a total of 106 participants this year and among them 2 laboratories recently registered from Korea.

Dr Matsumura said that so far the time schedule is ok therefore in October should be sent the final report.

Dr Fernández added that then in this occasion it won't be possible to have this final report to discuss it in Buenos Aires's meeting because this will be in September.

Dr Fernández also informed that there have been some problems for the delivery of samples in Argentina and in Mexico.

15.0 Reports on external representation (Issue to be discussed in the next meeting of Buenos Aires)

16.0 Report from member associations and the unaffiliated ordinary members' representative. (Issue to be discussed in the next meeting of of Buenos Aires)

17.0 Report from 17025 UIIL internal W.G. (Mrs. Adeeko)

Mrs. Adeeko gave thanks for being invited to the meeting and explained that UIIL had formed the working group for the review of the 17025 and the secretary had distributed the information sent by Dr Silva from the Eurolab W.G. and also information sent by Mr McIntee. She also said that last week the UIIL W.G. had a meeting by videoconference and in it Mr. McIntee who attended past February in Genève to the first meeting of the ISO WG # 44, explained that in principle at that meeting were mainly simple presentations and explanations of the running of the W.G. and nothing important was already done about 17025 revision. Mr. McIntee also said that next ISO W.G. 4 meeting will take place in June.



Mrs. Adeeko also added the UILI W.G. has decided to have another Skype meeting before the ISO W.G. meets in June. They will also try to get feedback from EUROLAB and Associations members of UILI about what are the priorities or issues they want to change in the norm on this revision.

At this point Dr Fernández said that some of the laboratory members of UILI had asked for information about what the UILI W.G. is doing and he asked what kind of information could be distributed between the members who asked for it.

Dr Alvaro Silva said he said that he believed no information should be distributed until some positions of UILI were defined and prepared in a document for discussion.

18.0 Report from UILI-EUROLAB W.G. (Dr Silva Ribeiro)

Dr Silva said that at the moment the main concern regarding this W.G. is in relation with the ISO 17025 in order to find the way how both Eurolab and UILI can work together and try to present common positions in the ISO W.G. in charge of the revision of this standard.

On the other hand Dr Silva also pointed out that UILI and EUROLAB are working in the creation of regional associations. With this regional associations UILI could get more members to get a more worldwide role as international organization. Also for EUROLAB it is important to reach this aim of forming more regional associations of laboratories because this would allow laboratories worldwide to have a common voice and to be stronger in front of the Accreditation bodies as to have more influence at ILAC.

Dr Fernández agreed with Dr Silva and he added that UILI and EUROLAB are together working on these tasks.

19.0 Dates and venues upcoming 2015 -02 Governing Board Meetings

16 -18 September 2015 Place: Buenos Aires Argentina

20.0 Other business properly approved by the president

Drs Scholtis asked to Dr Fernández if the numbers included in the draft budget for 2015 could be achievable and Dr Fernandez said that the data given for the Association fees is the amount already invoiced and for the unaffiliated he thinks that can be reached. He also added that however about the figure given for sponsors he has doubts of being reached.

Drs Scholtis informed that at their last meeting in Holland they discussed who would attend the Buenos Aires meeting and they also proposed the possibility of making a tour in some Argentinian laboratories.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
القوتسوملا تاربتعمولل ولوردلا داجتالا
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

Dr Denari answered that he thought that it would be a great idea. He confirmed that Argentinian labs would be pleased to receive Board Member's visit.

Dr Fernández added that it would be a very good contribution for the meeting.

After this, Dr Fernández asked Dr Silva if he could inform about the election of EUROLAB's new president.

Dr Silva informed that he has just been elected as new president of EUROLAB. And he also said that this could be very good for a better collaboration between the two Associations. Dr Fernandez agreed.

All the Board Members congratulated Dr Silva for this new charge.

Dr Matsumura said that there is one bond maturing on April 1st and it would be important to decide how to reinvest it as soon as possible. He also said that soon he will send an e-mail to Mrs. Melissa Fernández asking several questions regarding finances.

21.0 Adjournment

Being 15:00 hours in Europe, the President thanked everyone for their participation and closed the meeting.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

Governing Board Meeting 2015/01 of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants
Wednesday, April 15, 2015,
TELECONFERENCE BOARD MEETING
Commencing at

COUNTRY	TIME
CANADA/ CCIL	08:00 H
ARGENTINA/ CALIBA	09:00 H (Participation not confirmed yet)
PORTUGAL/ RELACRE	13:00 H
SPAIN/ AELI	14:00 H
THE NETHERLANDS/VRS	14:00 H (Dr. Van der Wart can not attend the meeting)
NIGERIA/FRALS	13:00 H
President: Manahén Fernandez Alonso	14:00 H
Secretary General: Drs. Luc Scholtis	14:00 H
Treasurer: Dr. Toru Matsumura	21:00 H
Secretary: Melissa	14:00 H

AGENDA

- 1.0 Welcome and roll call of members
- 2.0 Apologies for absence (if any)
- 3.0 Approval of agenda
- 4.0 President's presentation
- 5.0 Review and approval of minutes from the Governing Board Meeting 13/02 held in Izmir on October 17, 2014 **(PLEASE READ AND SEND OBSERVATIONS OR PROPOSAL FOR CHANGES BEFORE THE MEETING)**
- 6.0 Review of action items and matters arising from the minutes not otherwise on the agenda
 - 6.1 Changes for study, evaluation and response of membership applications
 - 6.2 Proposal for linking JEMCA's website with the websites of the companies of the different Board Members.
- 7.0 Secretariat's report: **(brief information)**
- 8.0 Treasurer's report: **(brief information) budgets final and balances statements**



- 9.1 Final budget /balance statements for 2014.
- 9.2 Bank expenses
- 9.3 Bonds

- 9.0 Secretary General's report: **(brief information)**

- 10.0 Activities for next Governing Board meeting and General Assembly in Buenos Aires Argentina
 - 10.1 Draft Agenda with activities for the Buenos Aires meeting
 - 10.2 Preliminary program of Buenos Aires Labmeeting.
 - 10.3 Changes in Presidency.

- 11.0 Membership recruitment program
 - 12.1 list of Laboratories
 - 12.2 Activities for the promotion and expansion of UILI
 - 12.3 Sponsors

- 12.0 UILI – 9th Inter Laboratory Practice Up-date: **(brief information) (Dr. Matsumura)**

- 13.0 Reports on external representation
(Issue to be discussed in the next meeting of Buenos Aires)

- 14.0 Report from member associations and the unaffiliated ordinary members' representative. **(Issue to be discussed in the next meeting of of Buenos Aires)**

- 15.0 Dates and venues upcoming 2015 -02 Governing Board Meetings

16 -18 September 2015 Place: Buenos Aires Argentina

- 16.0 Other business properly approved by the president

- 17.0 Adjournment



Pag. : 1/15

**Governing Board Meeting 14/02 of the Union Internationale des Laboratoires Indépendants
 Thursday, October 16, 2014, EkoSmyrna laboratory, Izmir, Turkey
 Commencing at 10.00**

1.0 Welcome and roll call of members.

MEMBERS PRESENT:

Dr. Manahén Fernandez-Alonso, President

Dr. Hideo Tabata – Past President

Drs. Luc Scholtis – Secretary-General

Dr. Masahiro Tanaka –President of JEMCA

Dr. Álvaro Silva Ribeiro – President of RELACRE

Mr. Jorge Oliver-Rodés President of AELI

Drs. Van der Wart- President of VRS.

Dr. Toru Matsumura- UIIL ILAC Representative

Mrs. Melissa M. Fernández Valero - UIIL Secretary in office

INVITED GUESTS:d

Mrs. Nur Altug – Manager Director of EkoSmyrna Laboratory

Mrs. Mary-Anne Adeeko – Manager Director of Frals Testing

Dr. Fernández welcomes Board members present and thanks Mr. Luis Coll and Mr. Julio Hernández from Ecosur Laboratories in Spain and to Ms. Buke Coskum and Ms. Nur Altur from Ekosmyrna laboratory in Turkey for their support for the Izmir meeting organization.



He also thanks Melissa for coming because he knows that due to her actual condition she had to ask for medical permission to travel by plane and attend at the meeting.

He informs that at this meeting there are several important issues to deal and take decisions.

He proceeds to next point of agenda.

2.0 Apologies for absence.

Dr. Fernández says that apologies from Mr. McIntee have been received because he decided not to travel due to recommendations of the Government of Canada for safety issues related to existing conflict in Syria.

He also adds that Mr. McIntee told him that is the first time in many years that he is missing two UILI meetings and that he wishes and expects to attend the next.

3.0 Approval of the agenda.

Dr. Fernández explains that the agenda has been sent to all members by the secretariat. He asks if there is any other item to add or to modify.

No changes are proposed, so agenda is approved.

4.0 President's presentation.

Dr. Fernández informs that during the time from the last meeting to now they have been implementing activities to meet the goals proposed in the strategic plan for UILI that he presented in Barcelona's assembly.

He also explains that UILI's secretary with the collaboration of Labwing has developed a considerable effort in the search and preparation of a list of laboratories from different countries to which it has already been sent information about UILI's activities and subsequently invited to become member, as a result of that today he says that the Board will do something that they have not made for some time: evaluate several requests for membership.

He adds that in the secretariat's report Melissa will provide more details of all activities done so far such as making a more effective use of our website

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

to support activities of secretariat, selection of volunteers to participate on behalf of UILI in ISO 17025 revision committee and organization of this meeting and the workshop that we will have tomorrow: the LABMEETING.

He also says that despite these progress there are still many tasks to conclude in order to reach a relevant role for UILI worldwide and today they have major activities and decisions to make in the meeting.

Finally he adds that since his retirement last year from laboratory business he has had more time to work in UILI and he now understands better UILI's problems. He says that UILI needs to grow in membership and economic resources and once again he asks all the members to help secretariat and presidency to reach all projected goals. He says that it will be very important for UILI that all the Board Members use their contacts to provide information to try to get new members for UILI.

5.0 Review and approval of minutes from the Governing Board Meeting 14/01 held via Skype teleconference calls on April 22th, 2014

Dr. Fernández tells that the minutes were sent by Melissa months ago and again few days ago and he asks if is there any comments to them.

He says that they only received comments from JEMCA and the changes have already been added.

Nobody else adds anything therefore the minutes are approved.

6.0 Review of action items and matters arising from the minutes not otherwise on the agenda.

6.1.- Opened vice-presidency:

Dr. Fernández informs that early this year Mr. Jan Soers waived the vice-Presidency and this is a vacant position now, so it is important to cover it.

He says that they are not going to fill it now because this must be done in General Assembly so it will be done the next year.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

6.2- The UILI 2014 LABMEETING:

Dr. Fernández comments that in the last meeting of the board in Barcelona Dr. Alvaro Silva proposed to organize a workshop together with this Board meeting of Izmir and with from that idea Melissa and he developed an initial draft program which was reviewed and improved with the contributions from Drs. Scholtis and Dr. Alvaro Silva.

He also says that they have developed a relevant effort to get the participation of Turkish laboratories sending the information directly and also by Turklab's website. Given the low number of participants he explains that they decided to reduce the rates. He adds that Melissa and he were very concerned for this low participation but they decided to keep the Labmeeting given the relevance of the speeches.

Dr. Fernández says that few days ago he got a mail from Omer Güzel, president of Turklab, the Turkish laboratory Association. He read it and on it Mr. Güzel's he expresses that Turkish laboratories didn't registered to the meeting because they didn't like the participation of an individual Turkish laboratory (EkoSmyrna) organizing the event.

Drs. Scholtis says that it may be for the sponsoring logo of EkoSmyrna appearing in the event's program.

Dr. Fernández also reads his response to Mr. Güzel's message explaining that it has been a misunderstanding and that EkoSmyrna did not participate in the organization of Labmeeting and it was unfortunate not to know that before so it could be clarify.

Mrs. Altug expresses that she doesn't understand this because she says that even Turklab sometimes organize its meetings in individual laboratories.

Mr. Oliver-Rodés says that we should analyze if this is interesting for UILI to have private individual laboratories as sponsor or not to offer it for future events.

Dr. Fernández adds that there has been a misunderstanding because EkoSmyrna has just been a sponsor, they have not prepared anything of the Labmeeting. He says that UILI just wanted to approach UILI to the Turkish laboratories but somehow they failed.



Dr. Silva expresses that he thinks that this is not a failed meeting at all because it is the first time that UIIL prepares some workshop oriented to give different point of views from the international community of laboratories and this is something positive.

7.0 Secretariat's report.

The Secretary use this occasion to express her gratitude for the confidence that the Board Members have deposited in her to be the new secretary of such a relevant association. She also says that it is a real pleasure for her to work for and with them to reach the aims of UIIL.

She explains what has been done in the past months:

7.1. Changes for adaptation of new secretariat:

Given the necessary administrative changes for the transfer of secretariat this has been done so far:

- Mailing address: PO Box. She explains that the former secretariat had her postal address in Canada and the President and the Secretary General decided for the time being and for convenience to set the new P.O Box of UIIL in Breda, Netherlands.

Dr. Fernández adds that a post address is not enough because it is necessary a physical address for many things such as bank management.

Dr. Scholtis thinks that the bank issue will be solved once we start using the electronic banking system.

Dr. Tabata asks where UIIL pays taxes and Drs. Scholtis responds that UIIL has not to pay taxes because this is a non-profitable organization.

Dr. Tabata asks where the official registration is and Drs. Scholtis responds that this is in Paris, France. He says that he will try to found out how to set a physical address for UIIL.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

- E-mail addresses: To improve the corporative image of UILI, e-mails for Secretariat and President now are not personal e-mail addresses but UILI's specific ones.
- New secretary introduction: One of the first things that new secretariat did, was to introduce herself by e-mail to the secretaries of UILI's membership associations.
- Former secretary information: She says that most part of the former secretary's information was sent in a pen drive. However it wasn't organized by files or items therefore another important issue that she had to deal with at the beginning it was to organize all this amount of information. Recently she has sent more documents in a box to UILI's PO Box in Breda.

7.2. Changes for adaptation of new Treasury:

- BANK MANDATES: She explains that it was necessary to make changes in bank mandates. They spent many time with the paperwork necessary to get the new mandates from the bank but finally they have them for Dr. Matsumura and Drs. Scholtis.
- BANK ACCOUNTS: The President and she decided to leave only two bank accounts instead of three as they were before: one main account for the current banking and the second one only for the bonds investments.
- QUICK BOOKS: Given that they had many problems with the former license to use the QB that Francine had used before it was necessary to implement the use of new QuickBooks for the accounting. Drs. Scholtis contracted a new system of QB.
- ELECTRONIC BANKING: The next step that they would like to take it is to contract the bank service for the electronic banking. This will allow them to manage easier all the bank activity.

7.3. Membership recruitment effort both affiliated and unaffiliated:

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

- **List of Laboratories:** She says that since the beginning of her secretariat it is being prepared a lab list compiling the most important information of each laboratory. Each time that she updates the list she sends it to Nadine from Labwing so that she can include the new laboratories in UILLI's database. So far there has been compiled data from more than 2000 laboratories all around the world.
- **Activities for the promotion and expansion of UILLI:** This year we have carried out different activities for the promotion of UILLI: the 8th ILP, the creation of a WG for the ISO 17025 revision and the Labmeeting. She informs that the next step will be to send the recruitment package already prepared by Labwing. This will be done from the next month.

7.4. Use of the tools of our Web- Collaboration with Labwing:

Together with Labwing, she says that she has tried to improve the use of UILLI's website as the main way to communicate with the members and the whole community of laboratories that may visit it. Most part of the secretariat work has been managed through the website:

- **ILP:** this year have been done both the announcements and the applications by UILLI's website for all the countries except Japan.
- **UILLI LABMEETING** promotion and register.
- **ISO 17025 NEW FLASH** asking for volunteers and their register.
- **Invoicing:** invoices have been created and sent using the website.
- **Newsletter:** Together with Labwing, it has been prepared a new Newsletter that will be sent to all the associated members in the next days.

7.5. Labmeeting

She explains that following the recommendation of Dr. Silva, the President and she thought that it would be interesting to promote some kind of workshop opened to the laboratories all around the world for the 2014 UILLI meeting. This is how they decided to prepare the LABMEETING. The organization and



promotion of this event has taken much time of our time during the past months, however we think that this is the kind of activities that UILL should promote within the international community of laboratories.

7.6. Membership – unpaid dues

She says that in the folder it is included the list of paid and unpaid invoices from membership and ILP as of 30th of September.



INVOICES 2014 UP TO SEPT.30th.pdf

8.0 Secretary General's report.

8.1. Labwing's new contract conditions



LQ_LabWing_Co_UILL_500_06172014_A.C.M._1.pdf

Drs. Scholtis, explains which are the different items included in the contract and charged to UILL. He says that the price is the same of the former year but the difference is the acquisition of the Quick books.

He also explains that Nadine has spent so many time in UILL's work. He says that maybe we should have more people working on that but they should be paid.

Dr. Fernández says that we have made many progresses in the use of the Website as an important tool for the association. He also explains that he knows the time spent by Nadine but he adds that it is not easy sometimes for people outside to know how to use it.

Dr. Fernández asks Drs. Scholtis to have an approximate budget at the end of the year about Labwing services for the 2015 year so that we can include it in the general 2015 budget.

Drs. Scholtis says that they will do it at the end of December. He insisted in the number of hours spent by Nadine that are not included in the present contract.



Dr. Fernández begs him to go on supporting Melissa and him the next year.

Drs. Scholtis explains that Melissa and Nadine have made a big effort in preparing the labs list but it would be a very good thing if anyone of you could help us in this task and put other people in contact with us.

Drs. Scholtis presents a power point presentation to describe all the activities developed. **(Please find the document attached)**.

9.0 Treasurer's report.

9.1. Financial Reports to September 30, 2014

Dr. Fernández explains UILI's treasury report. He says that Dr. Matsumura asked him to present to the members this report. He shows an excel file with the trial balance as of 30th September and the budget for the next year



UILI 2015 Budget (1) (Oct. 14th).pdf
 2015.

He says that regarding the income provided for this year there has been a reduction mainly for the ILP income and also some for membership.

Dr. Fernández also informs that in the other side there are reductions in expenses for the meeting organization and secretary travel expenses. In relation to the meeting were projected 1000 € expenses plus 1000 € for Labmeeting and finally there will be no expenses and also for Secretariat's travel expenses were projected 2000 € and probably they will be around 1200€. Also office expenses are less than half of projected.

He also says that there has been a little increase in webhosting expenses for the QuickBooks and some for other designing issues, these have been covered with the sponsorships of Labmeeting.

Dr. Fernández says that UILI's budget will end the year with some loses mainly for the reduction of ILP revenues even though that expenses have been reduced considerably.

Drs. Scholtis also adds that the bonds interests is going down.

Dr. Matsumura asks if the membership has not been another important reason for the reduce of income and Dr. Fernández answers that also this has affected but not as much as the ILP income's reduction.



Dr. Fernández shows the budget expected for 2015 where there will be some more incomes coming from new membership, sponsors and Labmeeting. So he expects to have a positive final balance at the end of 2015.

Next Dr. Fernández presents the statement of UILI's bank accounts as of September 30th.



STATEMENT OF ACCOUNTS AS TO 30 SEPT 2014 (Oct 13th).pdf

10.0 Membership recruitment program/ evaluation of application.

10.1. Changes proposed for study, evaluation and response of membership applications

Dr. Fernández expresses that so far to evaluate UILI's membership applications for admission has been made directly at Board meetings, but given that it lasts at least 6 months between these meetings he thinks that it would be convenient to develop a system for a faster response to the applicants. For this reason he shows an evaluation grid that he prepared with the main information to accept or not a new applicant. He explains that this evaluation grid would be sent by the Secretariat to all the Board members and if there is no response in few weeks they will be accepted.



EVALUATION GRID FOR MEMBERSHIP APPLICATION.pdf

Drs. Scholtis says that before with the former secretariat some of the applications had no answer. He also explains that they would be a good thing if the laboratories could directly fill this grid themselves to become automatically members but it should be added a sentence explaining that later a UILI committee will study the applications. He then proposes to create an evaluation committee and it is decided to be composed by

- Drs. Scholtis,
- Dr. Fernández,
- Mr. Oliver-Rodés
- and **one person** from Jemca.

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

Dr. Tanaka expresses that he fully agree with this change.

After this they are presented to evaluation four new applications for membership of this year:

- Caliba the Argentinian Association of Independent Laboratories,
- Nestec. Nestle Research Center from Switzerland,
- Frals Testing Company from Nigeria and
- EkoSmyrna Laboratory from Turkey.

In the case of Frals Testing and EkoSmyrna, given that they are as invited in the Board meeting, Mrs. Altug and Mrs. Adeeko responsible of these companies do directly the presentation of their laboratories.

After Mrs. Altug and Mrs. Adeeko's explanations the Secretary General move the motion to accept them to become new UIIL's unaffiliated members and all Board members are in favor.

After reviewing one by one the other Applications it is decided that both Caliba and Nestec are accepted as new members of UIIL.

At this time the meeting is in recess for LUNCH from 13:30 -15:00

11.0 UIIL – 8th Inter Laboratory Practice Up-date

Dr. Matsumura gives information about the name, target, participants, reports and additional analysis of the 8th ILP. He also explains the total number of participants.

(Please find the presentation attached).

Dr. Matsumura explains that the revenues for UIIL this time were lower because the number of participants was lower. He also tells that the number of participants from outside Jemca is very low.

Dr. Matsumura presents his project for the 9th ILP to discussion. He proposes send the announcement in December. (details can be seen on presentation).

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

Mr. Oliver-Rodés proposes to send the announcement earlier in the year because many companies have their budgets closed in December, after a short discussion it is decided that it will be sent on November.

Regarding the prices, Dr. Matsumura informs that they should be the same for the next ILP.

Ms. Adeeko asks if there is any problem with the samples transportation to Nigeria and Dr. Matsumura answers that normally there is no problem. She explains that in Nigeria laboratories make basic analysis, so if the ILP covers them it could be acceptable for their participation.

Drs. Scholtis proposes an exercise with many different targets, cations, anions and compounds and each ILP participant could choose the type of essays it wants to make.

Dr. Van der Wart asks if there have been analyzed the other ILP organizers.

Dr. Matsumura says that regarding the price UILI's ILP is a bit cheaper than the other ILPs.

Dr. Fernández confirms that we are going to let the same price.

Dr. Van der Wart asks if this is possible to offer a combination of PCB's and PHA's because he thinks that this would be maybe more attractive. He proposes to offer different rates depending on the option that each laboratory chose.

Dr. Matsumura explains that in Japan there are not laboratory that makes PHA's essays.

Dr. Van der Wart wonders if maybe it could be done with a different parameter than the PHAs.

Dr. Matsumura says that he has no problem in including soil samples but maybe some countries can have problems with importing the samples as for example in Japan.

Dr. Fernández asks Dr. Matsumura to think about it thoroughly and give the Board Members his conclusions. He also proposes to offer our ILP to less developed countries because in the more developed ones we have more competition.

Dr. Matsumura says that he will send the information to make the announcement in November, the second in December, with death line

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

application in February, samples will be sent on March. (More details in presentation).

12.0 Reports on external associations:

12.1. ILAC/IAF (International Laboratory Accreditation Cooperation)

The ILAC/IAF Joint General Assembly was held in Vancouver, Canada from 8 to 16th October at the same time of our meeting, there was no representatives from UILI. Information will be sent and posted in our web.

12.2 ISO/CASCO (International Organization for Standardization).

The ISO/CASCO Annual meeting took place in Geneva in September 2014, our Vice-president Mr. Gib Mc.Intee attended that meeting and he will send us information about the issues discussed herein.

12.3 ISO 17025 Review:

This point is going to be treated on October 17 th after the Labmeeting, information can be seen in the minutes of the 17025b W.G. meeting. Find attached the agenda of the meeting



AGENDA UILI WORKING GROUP 17025 Meeting 2014 - October 17.pdf

Here find the call for volunteers to participate as representatives of UILI in the ISO/CASCO comite for revision of the ISO Standard.



ISO-CASCO 17025 WORKING GROUP VOLUNTEERS.pdf

12.2.2.2. Proposal for creation of an internal Working Group

12.3 Eurolab A.I.S.B.L. Follow-up to UILI-EUROLAB MOU Working Group

Dr. Silva summarize the conclusions of the UILI-EUROLAB MOU Working

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

Group:

- In the goal of forming Regional Associations of Laboratories, it was decided that EUROLAB is going to contact the national accreditation bodies and UILLI will go on searching information of independent laboratories and associations.
- It will be also prepared the basis of an action plan to implement the creation of regional associations important for both organizations, EUROLAB and UILLI.

Dr. Fernández adds that in the EUROLAB-UILLI meeting they also agreed to cooperate to discuss and try to take the same opinions in the ISO Working Group for 17025 revision.

13.0 Report from member associations and the unaffiliated ordinary members representative.

Dr. Fernández proposes to omit this section given the lack of time and all the members agree.

Dr. Tanaka explains that JEMCA created an international website in June and they want to include some information about UILLI Board Members. They wonder if it is possible to link JEMCA's website with the websites of the companies of the different Board Members.

Drs. Scholtis answers that this is possible and he will try to help them to do it.

14.0 Dates and venues upcoming 2014/2015 Governing Board Meetings:

15/01: Skype teleconference meeting:

It is decided to do it the 15th of April 2015.

15/02: Board meeting and 25th UILLI General Assembly:

Dr. Fernández explains that in the past Barcelona meeting he had proposed México as the place to make the next GB meeting however he has being in contact with some people there but he didn't feel support enough to organi

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي لدراسات مختبرات
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

ze the meeting there. So he proposes to prepare it in Argentina given that the Association has become UIIL's member and they want to support us in this task.

Everyone agree with the meeting's place and it is decided to set 17th and 18th of September.

15.0 Other business properly approved by the president

No other business were treated.

16.0 Adjournment

Dr. Fernández thanks all members for their magnificent participation.

Ordinary Income/Expense					
	Projected 2013	Final 2013	Project. 2014	December 31 2014	Projected 2015
Income					
Membership Dues					
Associations	15,000.00	13,663.00	15,000	13,806	16,910
Affiliates	5,000.00	900.00	4,000	900	3,000
New Memberships				1,560	
Total Membership Dues	20,000.00	14,563.00	19,000.00	16,266	19,910
Advertising/sponsoring				900	2,000
Workshops/ labmeeting events				426	1,000
Interest Income	1,000.00	967.37	900	796	600
ILP Income	8,000.00	7,012.00	7,000	2,984	4,000
Total Income	€29,000	€22,542	€26,900	21,372	€27,510
Expense					
Bank Service Charges					
DK-61 account	500.00	365.91	400	802	500
Exchange Rate Adjustment	30.00	176.79	100	0	0
DK-28 account (bonds)				50	30
Total Bank Services		542.7	500	853	530
Accounting Fees		364.61	300		
International Assns	1,100.00	1,047.48	1,100	1,028	1,028
Governing Board Expenses					
Governing Board Meeting Expen	1,000.00	1,792.00	1,000	0	1,000
Workshops expenses				0	
Other				0	1,000
Total Governing Board	1,000.00	1,792.00	1,000	0	2,000
Miscellaneous					
Secretariat					
Administration	16,000.00	16,000.00	16,000	16,000	16,000
Office expenses	500.00	177.00	500	148	300
Secretariat Travel Expenses	2,000.00	1,660.91	2,000	1,294	2,000
Total Secretariat	18,500	17,838	18,500	17,442	18,300
Marketing & PR					
Web Hosting	4,000.00	4,015.73	4,100	4,433	4,433
Design & software eng.				460	460
Total Marketing & PR	4,000.00	4,015.73	4,100	4,893	4,893
Total Expense	24,600	25,600	25,500	24,215	26,751
Total income	29,000	22,542	26,900	21,372	27,510
NET BALANCE	€4,400	-€3,058	€1,400	-€2,843	€759

STATEMENT OF ACCOUNTS AS OF DECEMBER 31 - 2014

Item	CREDIT €	DEBIT €	Comment
Danske acct #9128 DKK	276.22		
Danske acct #668861 EUR	22,616.00		
Investments	38,419.00		(145.528 DKK) (Bond that matures on 2015 /04/01) (150.000,00 DKK) (Savings account with fixed interest 0,4% to 04.09.2015)
Accounts Receivable (Dec. 31 2014)	1586 1395		Izmir meeting acomodation Dues from Board members Membership fees Dues from 2014:
Accounts Payable to Budget 2014 (Dec. 31 2014)		-4,000.00	4th quarter secretariat invoice
		-147.81	Office expenses
ILP recovery costs from JEMCA	1,044.00		
TOTAL	65,336.22	-4147.81	
NET ASSETS (Dec. 31 2014)	61,188.41		

DATE	ATTENDANT	AM			LUNCH	PM	DINNER
WED 16	Board member	Arrival				14:00-17:30 UII WORKING GROUPS MEETINGS: ISO 17025/ UII-EUROLAB/ ILP	21:00
	PLACE	??					??
	Companion	Arrival				Open	
THU 17	Board member	8:30-11:00 LABMEETING PRESENTATIONS	11:00- Coffee break	11:30-13:30 LABMEETING PRESENTATIONS	13:30	15:30-18:30 LABMEETING PRESENTATIONS	21:00 Gala dinner
	PLACE						??
	Companion	City tour			Open	Shopping	
FRI 18	Board member	8:30-11:00 UII Governing Board meeting	11:00- Coffee break	11:30-13:00 UII Governing Board meeting	13:30-	15:00-16:30 UII GENERAL ASSEMBLY	20:00
	PLACE	??				??	??
	Companion	Free time					
SAT 19	Board member	TOURISTIC ACTIVITIES			??	TOURISTIC ACTIVITIES	Open
	Companion						
SUN 20	Board member	Check out					
	Companion						

UNAFFILIATED MEMBERS 2012-2013 INFORMATION SENT BY FRANCINE JANUARY 28TH 2013

UILI - Affiliate Membership Dues - 10 or more €180 - less than 10 €90

Al Hoty Stanger Ltd.	€ 180.00
Company of Goldsmiths (Dublin)	€ 180.00
Edtech Associates (Malaysia)	€ 90.00
EUROFINS (Belgium)	€ 180.00
Flanders Analysis (France)	€ 180.00
Vitsan Gozetim AS (Turkey)	€ 90.00
TOTAL FEES (€)/YEAR	€900.00

UILI – MEMBERSHIP FEES FOR UNAFFIL. ORD. MEMBERS 2014–2015 TERM

LABORATORY MEMBER	FEE 2014	FEE 2015
<i>Al Hoty Stanger Ltd.(Saudi Arabia)</i>	180	180
<i>Company of Goldsmiths (Dublin)</i>	180	180
<i>Edtech Associates (Malaysia)</i>	90	90
<i>EUROFINS (Belgium)</i>	180	180
<i>Flanders Analysis (France)</i>	180	180
<i>Vitsan Gozetim AS (Turkey)</i>	90	membership cancelled
<i>Oikonomidis R.T.I. ltd (Greece)</i>	180	180
<i>Geos (Belgium)</i>	180	180
<i>ALS Laboratory group (hong Kong)</i>	*	
<i>Falcao Bauer (Brazil)</i>	*	
<i>Bio Chem Laboratories (Malaysia)</i>	*	
<i>Food Control S.A. (Argentina)</i>	*	
NEW LABORATORIES RECRUITED 2014-2015		
<i>Microbioticos (Uruguay)</i>		90
<i>Microbioticos Analyses laboratoriais Ltda (Brazil)</i>		180
<i>Microbioticos Paraguay</i>		90
<i>P A Laboratorio de aguas (Brazil)</i>		180
<i>EkoSmyrna (Turkey)</i>	90	180
<i>Nestec (Switzerland)</i>	90	180
<i>Fral testing and consulting services (Nigeria)</i>	45	90
TOTAL FEES (€)/YEAR	1485	2160

* Laboratories lost before 2014 and contacted again to try to renew their membership

).

UIII WORKING GROUP FOR ISO/IEC 17025 REVIEW
Meeting was held by Skype Teleconference
On 26th March 2015

PARTICIPANTS:

Dr. Manahén Fernández-Alonso, President
Drs. Luc Scholtis – Secretary-General
Mr. Gib Mc Intee (CCIL)
Mrs. MARY-ANNE ADEEKO (FRALS, Nigeria))
Drs. Van der Wart- (VRS).
Dr. Toru Matsumura- (JEMCA)
Mrs. Melissa M. Fernández Valero - UIII Secretary

1. Roll-call of attendants

Dr. Fernández welcome all the members of this working group for the revision of ISO/IEC 17025 and explained that just before this skype meeting he received a call from Dr. Silva saying that he wouldn't be able to joint this meeting at the time fixed because he had a General Assembly of RELACRE.

Dr. Fernández also commented that given that there is not a group coordinator he will help with this matter until this is elected later at the meeting.

2. Approval of the agenda

Dr. Fernández said that UIII's Secretary, Mrs. Melissa Fernández sent a draft of the agenda of this meeting to all the group members and no changes were suggested. The agenda was approved.

3. Approval of the draft minutes from the last meeting in Izmir

Dr. Fernández said that the minutes had been sent to all the members of this group and no changes were suggested, so the minutes were approved.

Dr. Fernández said that this group was formed in the Board Meeting of last October in Izmir and there it was decided which members will form this group and also were elected the representatives that would attend on behalf of UILI the meetings of the ISO working group 44 in Geneva. He added that in Izmir meeting was also decided that the UILI working group shall have a coordinator and that should be elected today at this meeting. He explained that the secretariat will help the coordinator in the preparation of the meetings and distribution of all the information.

At this point Dr. Fernández emphasized the following: **“it is very important for the health and wellness of the future of UILI that its name sounds clearly in meetings of all international organizations so everybody recognizes our worldwide significance and influence in those organizations so, please, as President I should like to ask to our representatives in any organization: ISO, ILAC, LLC ...please to make very clear that you are attending there on behalf of UILI and you carry the voice of our association.**

4. Election of coordinator for UILI 17025 internal working group.

Dr. Fernández asked if there was any volunteer to be the coordinator of this W.G. but nobody answered.

Mrs. Adeeko expressed that in her opinion Mr McIntee would be a good option given that he attends the meetings of the ISO.

Mr. McIntee responded that his laboratory doesn't work according to this standard so he thinks that it would be better to choose a person who knows very well the ISO 17025 rather than him.

Dr. Fernández proposed Mrs. Adeeko to be the coordinator of the W.G. and all the members approved this option therefore Mrs. Adeeko was elected officially as coordinator of the internal WG of UILI for the revision of the ISO 17025.

5. Brief review of activities related with the meeting of the ISO 17025 revision W. G. held in Geneva last February

Dr. Fernández said that Mr. McIntee attended the ISO meeting held on February in Geneva and he asked Mr. McIntee to summarize what was discussed there.

Mr. McIntee explained that from his point of view there won't be relevant changes in the standard.

Drs. Scholtis said that on February it was sent from ISO a list about new structures of this standard with new topics and requirements so he had the impression that there would be a lot of changes in the standard.

Mr. McIntee answered that maybe in future meeting we will be able to clarify if they will be many changes or not but so far in the first meeting they only discussed general matters.

Dr. Van der Wart expressed that he thinks that the documents talks more about technical input rather than about significant changes. He also expressed that Mr. McIntee is an important liaison for UILI in ISO.

Dr. Fernández commented that some associations have WG that are working in ISO items, for example in RELACRE, AELI... and he asked Dr. Van der Wart if they have also a similar Working Group in VRS.

Dr. Van der Wart answered that there is no a specific WG in VRS working on this issue and he explained that he is the liaison among a federation of some 90 laboratories that have some discussions about the ISO 17025 therefore he proposed to provide UILI the topics that they discuss.

Dr. Fernández agreed with Dr. Van der Wart proposal and he said that this is very important for UILI to have the different association's opinions in order to prepare our position for the next ISO meeting.

Dr. Matsumura apologized on behalf of IDEA for not being able to send its representative to attend the first ISO meeting in Geneva and he explained that Mr. Iijima isn't longer employee of IDEA Company. He also informed that there were two members from Japanese government that attended ISO meeting in Geneva as observers. Finally he explained that they are going to create a WG for the ISO revision in Jemca.

Dr. Fernández asked Dr. Matsumura to send if possible, the information discussed in that WG to UILI once it is created.

Dr. Matsumura fully agreed.

Both UILI and EUROLAB have created internal Working Groups for the Revision of ISO 17025 and both Associations have A liaison with ISO/CASCO and they are sending representatives to the meetings of W.G. in charge of the revision of the Standard. In the last October at the UILI-EUROLAB WG meeting in Izmir it was decided that for the interest of both Associations it would be very important that the representatives of UILI and EUROLAB will get in touch to discuss the issues of interest for laboratories and go to the ISO/CASCO meetings preferably with common positions. According with this Dr. Alvaro Silva sent information about the notes of the EUROLAB W.G. that was distributed by Melissa before the meeting in Geneva.

Dr. Scholtis then said that last week there was a skype meeting between UILI and EUROLAB members and the representatives of EUROLAB remarked that at the Geneva meeting there were not contact between the UILI and EUROLAB representatives assisting to the ISO meeting, he emphasized that these contacts should be effective.

Mrs. Adeeko asked the dates of the next ISO meeting.

Mr. McIntee answered that the next meeting in Geneva will be held on June the 2nd, 3rd and 4th, 2015.

Mrs. Adeeko commented that she read the document with the conclusions of the first Geneva meeting sent by Mr. McIntee and she realized that there are not significant changes.

Mr. McIntee agreed with Mrs. Adeeko and he explained that there was mostly a general discussion about the ISO17025 rather than discussions about more concrete sections.

6. General discussion and comments.

Dr. Fernández said that all the associations should have their WG information ready for the next Skype meeting.

Mrs. Adeeko asked availability of the members of this WG to set the date of the next Skype meeting. After discussing several options it is set for May 20th at:

- 8:00h am – CANADA
- 2:00h pm – SPAIN, THE NETHERLANDS and NIGERIA
- 1:00h pm - PORTUGAL
- 9:00 pm – JAPAN

7. Suggested actions for next ISO meeting

- Request and send to the group members all available information of the 17025 working groups of Member Associations. The group coordinator will contact them.
- Establish effective contacts with the EUROLAB 17025 WG and if necessary make some joint meeting between the two groups.
- Review and discuss all the information and draw conclusions in the next UILI skype meeting prior to the meeting in Geneva.

資料（和訳）



Union Internationale des Laboratoires Indépendants

2015 年第 1 回役員会

2015 年 4 月 15 日 (木)

テレビ会議

開始時間

COUNTRY	TIME
カナダ/ CCIL	08:00 H
アルゼンチン/ CALIBA	09:00 H(参加未確認)
ポルトガル/ RELACRE	13:00 H
スペイン/ AELI	14:00 H
オランダ/VRS	14:00 H (ファン・デル・ワルト博士は欠席)
ナイジェリア/FRALS	13:00 H
会長: マナヘン・フェルナンデス・アロンソ	14:00 H
事務局長: ルーク・ショルティス博士	14:00 H
財務担当: 松村徹博士	21:00 H
事務局: メリッサ	14:00 H

アジェンダ

- 1.0 歓迎と出席者確認
- 2.0 欠席者からのお詫び (あれば)
- 3.0 アジェンダの承認
- 4.0 会長からの報告
- 5.0 2014 年 10 月 17 日に開催されたバルセロナ開催の 2014 年第 2 回役員会の振り返り、及び議事録承認 (各自ご確認の上、会議前に修正提案等があればお送りください)
- 6.0 アジェンダ以外の、前回会議からの懸案事項
 - 6.1 入会申込の評価検討および回答手続きの変更
 - 6.2 JEMCAホームページ上に、他役員の所属会社のホームページをリンクさせる件について
- 7.0 事務局からの報告: (簡単な報告)



- 8.0 財務担当からの報告: **(簡単な報告) 最終的な収支と財務諸表**
 - 8.1 2014年の最終的な収支と財務諸表
 - 8.2 銀行口座費
 - 8.3 債券

- 9.0 事務局長からの報告: **(簡単な報告)**

- 10.0 次回アルゼンチン・ブエノスアイレス開催の役員会および総会に向けての作業 10.1
ブエノスアイレス会議のアジェンダ案
 - 10.2 ブエノスアイレス ラボミーティングのプログラム初案
 - 10.3 会長の交代について

- 11.0 会員増強活動
 - 12.1 試験所のリスト
 - 12.2 UIIL 広報と活躍拡大のための活動
 - 12.3 スポンサー

- 12.0 UIIL 第9回 ILP 経過報告: **(簡単な報告) (松村博士)**

- 13.0 外部加入団体活動報告
(次回ブエノスアイレス会議にて行う予定)

協会会員と非協会正会員代表からの報告 **(次回ブエノスアイレス会議にて行う予定)**

- 14.0 2015年第2回役員会 日程と場所

2015年9月16-18日 場所: アルゼンチン ブエノスアイレス

- 15.0 その他 (会長承認)

- 16.0 閉会



Union Internationale des Laboratoires Indépendants

2014年第2回役員会議

2014年10月16日(木)、於・トルコ・イズミル EkoSmyrna laboratory

10:00 開始

1.0 歓迎と出席の確認

出席者:

マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士, 会長
 田畑日出男博士 – 前会長
 ルーク・ショルティス博士 – 事務局長
 田中正廣氏 – JEMCA 会長
 アルバロ・シルバ・リベイロ博士 – RELACRE 会長
 ジョージ・オリバー・ロデス氏 会長
 ファン・デル・ワルト博士 - VRS会長
 松村徹博士- UIIL ILAC 代表
 メリッサ・M・フェルナンデス・バレロ氏 – UIIL 事務局

招待者:

ヌール・アルトゥー氏 – EkoSmyrna Laboratory社 取締役
 マリ・アンヌ・アデコ氏 – Frals Testing社 取締役

フェルナンデス博士は出席の役員を歓迎し、また、会議開催に際し協力いただいたスペインEcosur Laboratories社 ルイス・コル氏とジュリオ・ヘルナンデス氏、トルコEkosmyrna laboratory社 ブーケ・ジョシュクン氏とヌール・アルトゥー氏にお礼を述べた。

また、事務局に対し航空機での移動と、会議出席に医師の許可を得てまでの当会議出席にお礼を述べた。



当会議ではいくつかの重要課題があり、それぞれに結論を出さなければならないと述べた。

次の議題へ移る。

2.0 欠席のお詫び.

フェルナンデス博士は、マケンティ氏より、現在のシリアとの衝突があることでカナダ政府からの渡航勧告があったため、安全に配慮して会議を欠席する連絡を受けたことを報告した。

また、マケンティ氏が、長く UIIL に関わってきている中で、会議を続けて 2 回欠席するのは初めてのことで、次回会議には出席したいと言っていたことを添えた。

3.0 アジェンダの承認.

フェルナンデス博士は、アジェンダは事前に事務局より全員へ配布されたことが説明された。追加や修正はないか一同に確認した。

アジェンダは提案通りの内容で承認された。

4.0 会長からの報告.

フェルナンデス博士は前回会議から本日まで、バルセロナ会議で決議された UIIL 戦略を実行すべく活動をしてきたと述べた。

また、UIIL 事務局は Labwing 社の協力を得て各国にある試験所のリストを作成し、リスト上の試験所には UIIL の活動紹介と会員勧誘のメッセージを送ったと報告した。結果、役員が長らく経験していなかった、何件か寄せられた入会申込を評価する作業を行うことになったと述べた。

さらには、事務局業務を行う上での UIIL ウェブサイト有効活用の件、ISO17025 改訂委員会へ UIIL 代表者の選任と委員会の立ち上げの件、明日のワークショップ「ラボミーティング」の件について、後程事務局からの報告でメリッサから詳細な報告があると述べた。

これら活動を行っているが UIIL が世界で役割を果たすための課題は多く、本日は主活動や結論を出さなければならない。



フェルナンデス博士は、自身が昨年試験所ビジネスから引退して以来 UIIL 業務により多くの時間を費やすようになり、今は協会の抱える問題を一層理解できるようになったと述べた。彼はまた、UIIL の会員数の増強と、財源確保の必要性を訴え、役員に対し、計画実施のため事務局と会長への協力を改めてお願いした。加えて、UIIL には各役員が人脈を利用して会員増強のために情報提供することが重要であると述べた。

5.0 2014 年 4 月 22 日開催、2014 年第 1 回 Skype テレビ会議による役員会の議事録の承認

フェルナンデス博士は、議事録は数カ月前にメリッサより配布されており、また数日前に再配布されたことを述べ、一同に意見を求めた。

唯一 JEMCA からあった修正意見については反映済みであると述べた。

その他意見はなく、議事録は承認された。

6.0 アクションアイテムの確認及びアジェンダ以外で議事録より想定される懸案事項

6.1- 副会長空席の件

フェルナンデス博士は、本年始め、ヤン・ソレス氏が副会長の役職を退いたことで現在空席になっており、後任を決めなければならない。

フェルナンデス博士は、今は後任を決める必要はなく、来年総会にて行われることであると述べた。

6.2- UIIL 2014 ラボミーティングの件

フェルナンデス博士は、昨年バルセロナで開催された前回会議において、アルバロ・シルバ博士からイズミールでの役員会と同時にワークショップの開催が提案され、メリッサがプログラム案を作成、ショルティス博士とアルバロ・シルバ博士の協力で内容が改善されていったとの経緯を述べた。

また、トルコの試験所から参加者を集めるため、直接連絡をとったり、Turklab のウェブサイト情報を掲載してもらおう等努力したが、参加者が少なかったため、参加費を下げる決断をしたことを説明した。加えて、メ

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

リッサとフェルナンデス博士は参加者が少ないことを懸念していたが、スピーチの関係もあり、ラボミーティングの開催決行を決定した。

7.0 事務局からの報告.

事務局は、役員へ、自身の事務局選任へのお礼と、UIILの目的を果たすべく、役員のお手伝いができることを大変光栄に感じると述べた。

以下、作業報告がなされた。

7.1. 事務局交代のための変更:

事務局交代のための事務手続きとして、以下の作業を行った。:

- 住所: 私書箱。事務局は、前事務局が住所をカナダに置いていたことに触れ、会長と事務局長が新しい私書箱をオランダ・ブレダに置くことを決めたと述べた。
 フェルナンデス博士は、銀行との手続き等では郵便住所だけでなく、物理的住所が必要であると添えた。
 ショルティス博士は、銀行の問題はネットバンキングのシステムを導入すれば解決すると述べた。
 田畑博士より、UIILの納税国について質問し、これにショルティス博士はUIILは非営利組織なので納税の義務はないと説明した。
 田畑博士はまた、公式団体登録の場所について質問し、ショルティス博士はフランス・パリと答えた。ショルティス博士はまた、UIILの物理的住所を置く方法を調べることを確認すると述べた。
- E メールアドレス: UIILのイメージ向上のため、現在、会長や事務局は現在個人のものではなく、UIIL固有のアドレスを使用している。
- 新事務局紹介: 新事務局が就任直後に行ったことの 하나가、UIIL協会会員の事務局へ挨拶のメールを送ったこと。



- 前事務局情報: 前事務局からの資料は **USB** メモリにおさめられていたが、整理されていなかったため、引継ぎ後最初に資料の整理を行ったとのこと。また、先日、前事務局よりブレダにある **UIIL** 私書箱へ書類の箱が届けられたとのこと。

7.2. 新財務担当着任にあたっての変更手続き:

- 銀行マンドート（委任）手続き: 事務局は、銀行マンドートの変更手続きをしなければならないことを説明した。書面手続きに大変に時間がかかったが、結果として、松村博士とショルティス博士のマンドート登録が完了した。
- 銀行口座: 会長と事務局は、口座数を、現在の 3 箇所から当初の 2 箇所に戻し、1 つをメイン口座、もう 1 つを債券専用口座とすることを提案した。
- クイックブック（以下、**QB**。会計ソフト）: フランシンが前々事務局よりライセンスをうまく引き継ぐことができず、彼女自身で **QB** ソフトを新規購入した経緯があることから、ショルティス博士が新しく **QB** システムを構築した。
- ネットバンキング: 次の段階として、ネットバンキングサービスの申込を検討中。口座管理がより容易になる。

7.3. 協会会員および非協会会員の勧誘:

- 試験所リスト: 事務局は着任当初より試験所情報を集めたリストを作成している。リストを更新すると **Labwing** 社ナディーン氏へ送り、**UIIL** のデータベースに反映させているとのこと。これまでに世界 2,000 社の情報が集約されているとのこと。
- **UIIL** の広報宣伝と拡大のための活動: 本年 **UIIL** 広報宣伝活動として、第 8 回 **ILP**、**ISO 17025** 改訂のための **WG** 設置、ラボミーティングを実施した。次の段階としては、**Labwing** 社が用意した会員勧誘パックの配信で、来月以降行う予定。

7.4. ウェブの利活用・**Labwing** 社との協力:

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

Labwing 社協力の下、会員やアクセスする試験所関係者とのコミュニケーション手段として UIIL ウェブサイトの利活用の改善を試みた。主な事務作業はウェブ上で行うことが可能。

- ILP: 本年は募集案内と参加申し込みについて、日本以外の国についてはUIILウェブ上で行った。
- UIIL ラボミーティングの宣伝および参加登録。
- ISO 17025ニュースフラッシュではボランティアを募った。
- 請求書発行: ウェブ上で請求書を発行、配信した。
- ニュースレター: Labwing社協力の下ニュースレターが準備され、数日の内に関係会員へ配信予定。

7.5. ラボミーティング

シルバ博士、会長、および事務局が 2014 年 UIIL 会議でのワークショップの同時開催を提案し、ラボミーティング開催に至った。会議準備には多くの時間を要したが、これは、まさに UIIL が国際的に試験所業界へ働きかける活動という信念でここ数カ月間の作業の殆どがその時間に充てられた。

7.6. 会費 – 未払い

9 月 30 日現在の会費および ILP 参加費の支払状況の一覧を配布した。



INVOICES 2014 UP TO SEPT.30th.pdf

8.0 事務局長報告.

8.1. Labwing 社 新契約状況



LQ_LabWing_Co_UIIL_500_06172014_A.C.M._1.pdf

シヨルティス博士は、契約内容で UIIL 支払分についての変更箇所を説明



した。請求額は例年と変わらないが、QB ソフトの項目が変わったとのこと。

また、ナディーン（Labwing 社ボーマン氏）が UIIL 作業に多くの時間を費やしていると述べ、人件費を支払って作業人員を増やしてはどうかと提案した。

フェルナンデス博士は、協会運営の重要なツールとして、ウェブサイトの利活用に色々手を尽くしたことを述べた。また、ナディーンの作業時間を知ってはいるが、外部の、ウェブの使い方のわからない人が作業するには難しいこともある、と添えた。

フェルナンデス博士はショルティス博士へ、2015 年予算に反映させるため、2015 年度 Labwing 社サービスのおよその見積もりについて、年末までに提出してもらえよう依頼した。

それに対し、ショルティス博士は 12 月末に提出すると答えた。彼はまた、ナディーンの作業にかかった費用については契約書には含まれていないことを強調した。

フェルナンデス博士は翌年も自分とメリッサをサポートしてもらえよう頼んだ。

ショルティス博士はメリッサとナディーンは試験所リストを作るのに大変な労力を費やしている。我々の中から他にこの作業を手伝える人員を提供してもらいたいと述べた。

続いて、ショルティス博士はパワーポイントによる活動報告を行った。

（添付資料参照）

9.0 財務担当.

9.1. 2014 年 9 月 30 日現在 財務報告

フェルナンデス博士は、UIIL 財務状況を報告し、松村博士からも出席者へ説明してもらえよう促した。彼は 9 月 30 日現在のトライアルバランスと 2015 年の予算案を発表した。



UIIL 2015 Budget (1) (Oct. 14th).pdf



本年の収入額が少ないのは、ILP 収入と会費収入が減額したためと説明した。

フェルナンデス博士は、一方では、会議運営費や事務局旅費等の減少により、支出は抑えられていることを添えた。会議費に関していえば、本会に 1,000EUR、ラボミーティングに 1,000EUR が予算として計上されていたところ、支出はなく、また、事務局旅費の予算が 2,000EUR 計上されていたところ、約 1,200EUR になる見込みとのこと。また、事務局経費が予算より抑えられているとのことであった。

加えて、ウェブ管理に関する支出が、QB ソフト購入費やその他デザイン費の分多少増加しているが、これはラボミーティングのスポンサー料でまかなえたとのこと。

フェルナンデス博士は、UIIL 財務は支出が大幅に減少してはいるものの、主に ILP 収入減によってマイナスとなることを述べた。

ショルティス博士は、債券の利率が下がったことも関係していると添えた。

松村博士は、収入減の主な原因に会費収入が少なかったこともあるのではないかと指摘したが、フェルナンデス博士は、それも一つあるが、ILP の収入減に比べれば影響は少ない、と答えた。

フェルナンデス博士は 2015 年度予算を発表し、新規入会による会費収入の増加と、ラボミーティングスポンサーによる収入増を見込んでいる。したがって、2015 年末には収支がプラスになる予想と述べた。

次いで、フェルナンデス博士は 9 月 30 日現在の銀行明細を発表した。



STATEMENT OF ACCOUNTS AS TO 30 SEPT 2014 (Oct 13th).pdf

10.0 会員増強活動/入会申込の内容検討

10.1. 入会申込があった場合の、検討、評価対応の変更案

フェルナンデス博士は、UIIL 入会の評価は管理上役員会で行われているが、会議の間隔が最低 6 カ月は空いてしまい、入会希望者へより早く回答をするための迅速な評価システムを構築することを提案した。そして、自身で用意した、入会の可否を検討するための評価項目リストを見せた。このリストは事務局から役員へ配布するので、数週の内に変更・修正等意見がな

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
 UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
 UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
 INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
 國際聯盟的獨立實驗室
 FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
 UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
 МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
 國際獨立研究所連合
 FOUNDED 1960

ければ承諾されたものとする述べた。



EVALUATION GRID FOR MEMBERSHIP APPLICATION.pdf

ショルティス博士は前事務局時代にあった入会申込に対し返答をしていなかったことを述べた。また、申込者自身で項目に回答してもらい、ただし、回答結果は UIIL 委員会で評価検討する旨の一文をリストに添えることを提案した。そして、UIIL 評価委員会を設置し、そこで入会申込内容を検討することと、そのメンバーを次の役員とすることを提案した。

- ショルティス博士
- フェルナンデス博士
- オリバー・ロデス氏
- JEMCA から 1名

田中氏はこれに賛成した。

その後、本年の入会申込 4 件について協議した。：

- Caliba、アルゼンチン独立試験協会
- Nestec. Nestle Research Center 社（スイス）
- Frals Testing Company 社（ナイジェリア）
- EkoSmyrna Laboratory 社（トルコ）

Fral Testing社 と EkoSmyrna社については、役員会に招待されたアルトゥー氏とアデコ氏がそれぞれの会社の関係者で試験所の組織を代表している立場である。

アルティー氏とアデコ氏からの発表の後、事務局長は 2 社を非協会会員として入会を受け入れる件について動議を起し、出席役員一同これに賛成した。

その他の入会申し込みを 1 件ずつ評価し、Caliba、Nestec 社も入会を許可する決議がなされた。

13 : 30-15 : 00 の間、昼食のため中断

11.0 UIIL – 第 8 回 ILP 経過報告



松村博士は、第 8 回 ILP について試験名、分析項目、参加者、報告書、追加分析、および最終的な参加数を報告した。

(添付のプレゼン資料参照)

松村博士は、今回 UIIL の収入が少なかったのは参加数が少なかったことが原因であることを説明した。また、特に JEMCA 以外の参加数が大変少ないことを添えた。

松村博士は、第 9 回 ILP の計画を発表し、案内を 12 月に公開することを提案した。(詳細はプレゼン資料参照)

オリバー・ロデス氏は、多くの会社が 12 月に決算期を迎えるので、本年のもっと早い段階で案内を発信することを提案した。短い議論が交わされた結果、11 月に案内を発信することで決議された。

松村博士は、参加費について次回 ILP もこれまでと同額とすると述べた。

アデコ氏は、ナイジェリアへの試料配送に問題はないかと質問し、松村博士は通常問題はないと回答した。アデコ氏は、ナイジェリアの試験所では一般分析をしており、ILP でそれらの項目を扱うようであれば参加可能であると述べた。

シオルティス博士は、カチオン、アニオン、化合物等いくつも項目を用意した試験とし、ILP 参加者に選択させる方法を提案した。

ファン・デル・ワルト博士は、他で企画している ILP を研究することを提案した。

松村博士は、UIIL ILP は他と比べて参加費が低く設定されていると述べた。

フェルナンデス博士は、参加費はこれまでと同額とすることを確認した。

ファン・デル・ワルト博士は、PCB と PHA を組み合わせる試験が可能であれば魅力的だと述べた。また、試験所の選択する項目によって異なる参加費を設定することを提案した。

松村博士は、日本には PHA 分析を取り扱う試験所がないと述べた。

それに対しファン・デル・ワルト博士は、PHA 以外の試験項目は思いつかないと述べた。

松村博士は、土壌のサンプルを扱うこと自体は可能であるが、日本がそうであるように、国によっては輸入できないことがあると述べた。



フェルナンデス博士は松村博士に対し、このことについて十分に検討の上、結果を役員へ連絡してほしいと伝えた。また、先進国では競争が激しいため、ILPを発展途上国へ広めることを提案した。

松村博士は、11月に第一報、12月に第二報を配信し、応募締め切りを2月に設定、3月には試料配布とする内容で試験内容を送ることを約束した。(詳細はプレゼン資料参照)

12.0 外部団体活動報告:

12.1. ILAC/IAF (国際試験所認定協力機構)

ILAC/IAF 合同総会が10月8日～16日にカナダ・バンクーバーにて開催されたが、UILIからの参加者はない。関係情報はウェブに掲載予定。

12.2 ISO/CASCO (国際標準化機構).

ISO/CASCO (国際標準化機構 適合性評価委員会) 年会在2014年9月、ジュネーブにて開催され、当協会副会長ギブ・マケンティ氏が出席者した。会議内容は追ってマケンティ氏が発信する。

12.3 ISO 17025 改訂:

本件は10月17日のラボミーティング後に取り上げられ、議事結果は17025 ワーキンググループ議事録にて確認できる。ここに会議アジェンダを添付する。



AGENDA UIILI WORKING GROUP 17025 Meeting 2014 - October 17.pdf

また、UILIを代表してISO規格改定のためのISO/CASCO委員会へ参加する人員の募集案内を添付する。



ISO-CASCO 17025 WORKING GROUP VOLUNTEERS.pdf

12.2.2.2. UILI 内ワーキンググループ設置の提案



12.3 UIIL-EUROLAB MOU ワーキンググループに関する Eurolab からの経過報告

シルバ博士は、UIIL-EUROLAB MOU ワーキンググループの議事結果を簡単に報告した。：

- 試験所の地域協会を設立することを目的として、EUROLAB が各国認定機関に連絡を担当し、UIIL が独立系試験所や協会の情報を集めることを担当することになった。
- また、EUROLAB および UIIL の両協会にとって重要である、地域協会設立に向けての活動計画の枠組みを作成することになった。

加えて、フェルナンデス博士は、EUROLAB-UIIL 会議では 17025 改訂のための ISO ワーキンググループにおいては協力して協議を重ね、同意見を持つようにすることで合意していると述べた。

13.0 協会会員および非協会正会員代表からの報告.

フェルナンデス博士は時間節約のため、本議題を省略することを提案し、一同同意した。

田中氏は、JEMCA が 6 月に国外向けのウェブサイトを開設したことと、そこへ UIIL 役員の情報を掲載したい、JEMCA ウェブ上に各国役員の企業のホームページをリンクさせることの了解が欲しい旨述べた。

ショルティス博士は、それについて問題ないと述べ、また、作業の手伝いを申し出た。

14.0 2014/2015 年役員会議開催予定:

2015 年第 1 回: Skype テレビ会議:

2015 年 4 月 15 日 (水) に確定。

2015 年第 2 回: 第 25 回総会:

フェルナンデス博士は、以前開催されたバルセロナ会議で次回メキシコ開催を提案し、現地の知り合い何名かに連絡をとって見たが会議開催の協力はもらえそうにないと感じたことを述べた。よって、この度アルゼンチン協会が入会したことで会議開催を打診したところ協力に前向きであったた

UNION INTERNATIONALE DES LABORATOIRES INDÉPENDANTS
UNIÃO INTERNACIONAL DE LABORATÓRIOS INDEPENDENTES
UNIONE INTERNAZIONALE DEI LABORATORI INDIPENDENTI
INTERNATIONALE UNION DER UNABHÄNGIGEN LABORS
國際聯盟的獨立實驗室
FONDÉE EN 1960



INTERNATIONAL UNION OF INDEPENDENT LABORATORIES
UNIÓN INTERNACIONAL DE LABORATORIOS INDEPENDIENTES
МЕЖДУНАРОДНЫЙ СОЮЗ НЕЗАВИСИМЫХ ЛАБОРАТОРИЙ
الاتحاد الدولي لدراسات مختبرات
國際獨立研究所連合
FOUNDED 1960

め、アルゼンチン開催を提案した。

一同会議開催地に合意し、日程は9月17日、18日に確定した。

15.0 その他（会長承認）

特になし。

16.0 閉会

フェルナンデス博士は一同へ会議出席のお礼を述べた。

		経常利益/費用				
		2013年案	2013年最終	2014年案	2014年12月31日	2015年案
収入						
会費						
協会会員	15,000.00	13,663.00	15,000	13,806	16,910	
非協会会員	5,000.00	900.00	4,000	900	3,000	
新規会員				1,560		
会費合計	20,000.00	14,563.00	19,000.00	16,266	19,910	
広告収入				900	2,000	
ワークショップ/labmeetingイベント				426	1,000	
利息	1,000.00	967.37	900	796	600	
TLP収入	8,000.00	7,012.00	7,000	2,984	4,000	
収入合計	€29,000	€22,542	€26,900	21,372	€27,510	
収入						
銀行手数料						
Danske銀行ユーロ口座(No.61)	500.00	365.91	400	802	500	
為替調整費	30.00	176.79	100	0	0	
Danske銀行クローネ債券口座(No.28)				50	30	
銀行手数料合計		542.7	500	853	530	
監査費		364.61	300			
国際機関会費	1,100.00	1,047.48	1,100	1,028	1,028	
役員会議費用						
役員会議費用	1,000.00	1,792.00	1,000	0	1,000	
ワークショップ費用				0		
他				0	1,000	
役員会議費用合計	1,000.00	1,792.00	1,000	0	2,000	
雑費						
事務局費						
人件費	16,000.00	16,000.00	16,000	16,000	16,000	
事務局経費	500.00	177.00	500	148	300	
事務局旅費	2,000.00	1,660.91	2,000	1,294	2,000	
事務局費合計	18,500	17,838	18,500	17,442	18,300	
広告費						
ウェブ管理費	4,000.00	4,015.73	4,100	4,433	4,433	
デザイン・ソフト技術費				460	460	
広告費合計	4,000.00	4,015.73	4,100	4,893	4,893	
Total Expense	24,600	25,600	25,500	24,215	26,751	
Total income	29,000	22,542	26,900	21,372	27,510	
NET BALANCE	€4,400	-€3,058	€1,400	-€2,843	€759	

銀行残高(2014年12月31日現在)

資料D

項目	貸方 €	借方 €	備考
ダンスケ銀行 #9128 クローネ	276.22		
ダンスケ銀行 #668861 ユーロ	22,616.00		
債券	38,419.00		(145.528 クローネ) (2015年4月1日満期) (150.000,00 クローネ) (2015年9月4日満期、利率0.4%)
未収入金(2014年12月31日現在)	1586 1395		イズミル会議、役員宿泊費 2014年会費
2014年 未払い金(2014年12月31日現在)		-4,000.00	第4四半期事務局人件費請求
		-147.81	事務経費
JEMCAからのILP収入	1,044.00		
合計	65,336.22	-4147.81	
純資産(2014年12月31日現在)	61,188.41		

日にち	ATTENDANT	午前			昼食	午後	夕食
9/16(水)	役員	到着				14:00-17:30 UIIL ワーキンググループ : ISO 17025/ UIIL- EUROLAB / ILP	21:00
	場所	??					??
	同行者	到着				未定	
9/17(木)	役員	8:30-11:00 ラボミーティング プレゼンテーション	11:00- 休憩	11:30-13:30 ラボミーティン グ プレゼンテーシ ョン	13:30	15:30-18:30 ラボミーティング プレゼンテーション	21:00 ガラディナー
	場所						??
	同行者	シティーツアー			未定	ショッピング	
9/18(金)	役員	8:30-11:00 UIIL 役員会	11:00- 休憩	11:30-13:00 UIIL 役員会	13:30-	15:00-16:30 UIIL 総会	20:00
	場所	??				??	??
	同行者	自由					
9/19(土)	役員	ツアー				ツアー	未定
	同行者				??		
9/20(日)	役員	ホテルチェックアウト					
	同行者						

2013年1月28日 フランシシより届いた 2012-2013非協会正会員情報

UILI - 非協会会員会費 - 10 以上 €180 - 10未満 €90	
Al Hoty Stanger Ltd.	€ 180.00
Company of Goldsmiths (Dublin)	€ 180.00
Edtech Associates (Malaysia)	€ 90.00
EUROFINS (Belgium)	€ 180.00
Flanders Analysis (France)	€ 180.00
Vitsan Gozetim AS (Turkey)	€ 90.00
年会費 合計(€)	€900.00

UILI - 2014-2015 非協会正会員会費

会員試験所	2014年会費	2015年会費
<i>Al Hoty Stanger Ltd.(Saudi Arabia)</i>	180	180
<i>Company of Goldsmiths (Dublin)</i>	180	180
<i>Edtech Associates (Malaysia)</i>	90	90
<i>EUROFINS (Belgium)</i>	180	180
<i>Flanders Analysis (France)</i>	180	180
<i>Vitsan Gozetim AS (Turkey)</i>	90	退会
<i>Oikonomidis R.T.I. ltd (Greece)</i>	180	180
<i>Geos (Belgium)</i>	180	180
<i>ALS Laboratory group (hong Kong)</i>	*	
<i>Falcao Bauer (Brazil)</i>	*	
<i>Bio Chem Laboratories (Malaysia)</i>	*	
<i>Food Control S.A. (Argentina)</i>	*	
2014-2015 入会会員		
<i>Microbioticos (Uruguay)</i>		90
<i>Microbioticos Analyses laboratoriais Itda (Brazil)</i>		180
<i>Microbioticos Paraguay</i>		90
<i>P A Laboratorio de aguas (Brazil)</i>		180
<i>EkoSmyrna (Turkey)</i>	90	180
<i>Nestec (Switzerland)</i>	90	180
<i>Fral testing and consulting services (Nigeria)</i>	45	90
年会費 合計(€)	1485	2160

* 2014年以前に連絡が途絶え、再入会の連絡を取っている試験所

ISO/IEC 17025 改訂のための UIIL 内 WG
Skype 会議
2015 年 3 月 26 日

出席者:

マナヘン・フェルナンデス・アロンソ博士、会長

ルーク・ショルティス博士 – 事務局長

ギブ・マケンティ氏 (CCIL)

マリ・アンヌ・アデコ氏 (FRALS, ナイジェリア)

ファン・デル・ワルト博士 (VRS)

松村徹博士- (JEMCA)

メリッサ・M・フェルナンデス・バレロ氏 – UIIL 事務局

1. 出席者の確認

フェルナンデス博士は一同に対し、ISO/IEC17025 の改訂に係る WG への出席を歓迎し、本会議の直前にシルバ博士より連絡を受け、RELACRE の総会に出席するため本会議を欠席することを報告した。

フェルナンデス博士はまた、後でコーディネーターを選任するまでは自身がその役割を行うことを述べた。

2. アジェンダの承認

フェルナンデス博士は、UIIL 事務局から WG メンバーへ本会議のアジェンダ案を配布済みであり、修正等の意見はなかったことを報告した。よって、アジェンダ案は承認された。

3. 前回イズミル会議議事録の承認

フェルナンデス博士は、前回会議議事録案は WG メンバーへ配布され、修正等の意見はなかったことを報告し、議事録案は承認された。

フェルナンデス博士は、本 WG は昨年 10 月イズミルに於ける役員会で形成され、ジュネーブ開催の ISO WG44 へ UIIL から参加する代表者を選定したこと述べた。更に、イズミル会議では UIIL WG にコーディネーターを置くことが決まり、その人を本日これから選定すると加えた。フェルナンデス博士は、会議開催や情報配信については事務局がコーディネーターを補佐することを説明した。

本件についてフェルナンデス博士は次について強調した。：「重要なのは将来の UIIL が健全であること。それは国際組織の会議上で UIIL の名前が挙がること、我々の活動が広く世界で知られ、これら組織と関わりを持つことである。そのためには、会議に参加される皆様には、ISO ILAC LLC 等の関係組織へ UIIL を代表した立場であること、UIIL の声を届けることを意識することを、会長として強くお願いしたい」

4. UIIL 17025 内部 WG コーディネーター選定

フェルナンデス博士は、コーディネーターに立候補者はいないか一同へ確認したが反応はなかった。

アデコ氏は、マケンティ氏は ISO 会議に参加するため適任であると述べた。

マケンティ氏は自身が所属する試験所は本規格とは関係がないため、自身以外で ISO17025 に詳しい人の方が適任であると答えた。

フェルナンデス博士はアデコ氏を WG コーディネーターに推薦し、一同がこれに合意、アデコ氏が ISO17025 改訂に係る UIIL 内 WG のコーディネーターに選定された。

5. 2 月ジュネーブに於ける ISO17025 改訂 WG の概要報告

フェルナンデス博士はマケンティ氏が 2 月にジュネーブで開催された ISO 会議に参加したことに触れ、マケンティ氏に簡単に会議の報告をしてもらえるよう促した。

マケンティ氏は、自身の認識内で、規格には関係する変更点がないと述べた。

ショルティス博士は、2月にISOから送られてきた資料にあった規格の新構造でトピックスや要求事項が記載されたリストを見る限りでは、新規格にはたくさんの変更がある印象を受けたと述べた。

マケンティ氏は、変更点については今後会議で明らかになるであろうが、第1回会議では全般的なことのみが話し合われた、と答えた。

ファン・デル・ワルト博士は、資料によると大きな変更よりも技術的な要素が追加されていると述べた。また、マケンティ氏はUIILにとって、ISOとの重要な調整役であることを加えた。

フェルナンデス博士は、ISOに係るWGを設置して対応しているRELACRE、AELIのような協会があるが、VRSにはそれに似たWGはあるのか質問した。

ファン・デル・ワルト博士はVRSには本規格に特定したWGはないが、彼自身が、約90試験所が参加しISO17025について話しあう組織との調整役をしているので、そこで話し合われた内容をUIILへ報告することを申し出た。

フェルナンデス博士はファン・デル・ワルト博士の申し出を受け、UIILにとって、次のISO会議での姿勢の参考にするため、他の協会の意見を聞けるのは大変重要な機会であると述べた。

松村博士は、ジュネーブで開催された第1回の会議にIDEAから人を出せなかったことのお詫びを述べ、また、飯島氏はIDEAを退職する旨を報告した。また、ジュネーブで開催されたISO会議に日本から2名がオブザーバーとして出席したことを報告した。最後に、JEMCAでは本ISO規格改訂に係るWGを設置することを述べた。

フェルナンデス博士は松村博士へ、可能であれば、JEMCAのWGが設置されたら、会議内容を報告してほしいことを依頼した。

松村博士はこれを承諾した。

UIILとEUROLABは、ISO17025の改訂に係る内部WGを設置し、ISO/CASCOへリエゾンAの資格をもち、両協会はそれぞれから規格改定に係るWGの会議に代

表者を出す。昨年 10 月にイズミルで開催された UIIL-EUROLAB WG で、UIIL、EUROLAB それぞれの代表は連絡を取り合い試験所の関心事の課題について意見を交換し、ISO/CASCO 会議において、共通の意見を持てるよう協力したい考えでいることが確定した。これに関連して、アルバロ・シルバ博士は、EUROLAB WG の議事録は、ジュネーブでの会議前に事務局経由で配布されたと述べた。

ショルティス博士は、前の週に行われた UIIL と EUROLAB 間の Skype 会議上で、EUROLAB 側より、ジュネーブでの会議では ISO 会議に関連して UIIL と EUROLAB の代表者間で連絡をとることはなかったとの指摘があったことを述べ、連絡をとることの重要性を強調した。

アデコ氏は次回 ISO 会議の日程について質問した。

マケンティ氏はジュネーブでの次回会議は 2015 年 6 月 2 日、3 日、4 日と答えた。

アデコ氏は、マケンティ氏から転送された、ジュネーブ開催の第 1 回会議の結果を読んだが、大きな変更はない印象を受けたと述べた。

マケンティ氏はアデコ氏に同調し、会議では主に ISO17025 全般に関する話し合いがなされ、具体的な内容には触れていないと説明した。

6. ディスカッションとコメント

フェルナンデス博士は、全会員協会に対し、次回会議で WG の情報を報告できるよう準備することを依頼した。

アデコ氏は本 WG における次回 Skype 会議の日程について出席者に確認した。結果、次回会議は 5 月 20 日に決定した。開始時間は下記の通り。

- 08:00 – カナダ
- 14:00 – スペイン、オランダ、ナイジェリア
- 13:00 - ポルトガル
- 21:00 – 日本

7. 次回 ISO 会議に向けての作業

- WG メンバーへ、会員協会の 17025 WG の情報を送る。コーディネーターが連絡役を行う。
- EUROLAB 17025 WG と情報を交換し、必要に応じて両協会間で会議を行う。
- 全ての情報を確認、議論を交わし、次のジュネーブ会議前に開催する UILI Skype 会議にて結論を出す。

